京城日報

發行所 京城日報社 京城太平通一丁目
發行兼編輯人 奥田貞次郎
印刷人 小川三之介

○露國非戰論者捕縛

露國にては戰爭反對論者の捕縛さる者續々なり（露都電報）

○段內閣瓦解確實說

過般來危殆を傳へられし段內閣の瓦解は愈々確實となれりと傳へらる（北京電報）

○故米大使遺骸

駐日米國大使故ガスリー氏の遺骸は愈々來二十八日橫濱港拔錨の帝國軍艦にて米本國に送る可し（東京電報）

○小川代議士著釜

代議士小川平吉氏は二十五日朝新羅丸にて著釜直ちに京城へ向へり（釜山特電）

○湯淺代議士著釜

代議士湯淺凡平氏は二十五日朝新羅丸にて著釜直ちに密陽へ向へり（釜山特電）

●聖旨を奉じて

御慰問使內山侍從武官長入京
多數の出迎を受けて朝鮮ホテルへ

侍從武官長陸軍大將內山小二郎氏は朝鮮總督府、朝鮮駐劄軍司令部、朝鮮憲兵隊司令部、第十九師團司令部及び各部隊鎭海灣要港部、同令部同防備隊永興灣防備隊視察並に在朝鮮將卒御慰問の　聖旨傳達の爲め新井金次郎氏外一名の隨員を從へ廿五日午前十時(延着)南大門驛著入京したり之れより先き御慰問使出迎へとして

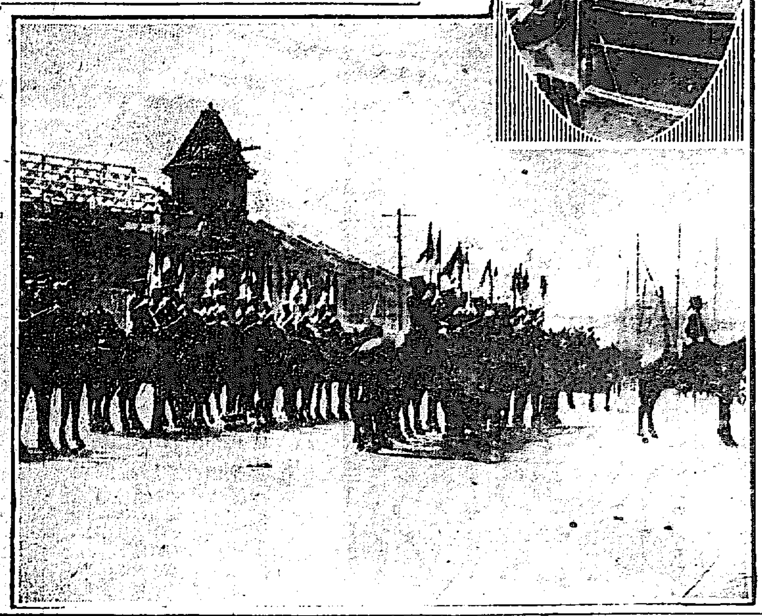
▲停車場には 朝鮮駐劄軍司令官秋山大將、第十九師團長立花中將、憲兵隊司令官代理、下駐劄軍司令部第十九師團憲兵隊各將校、總督府側よりは山縣政務總監、松永道長官、國分李王職次官以下各文官民間有志等數百名出迎へ南大門驛前大門前の道路左側には星野少佐の指揮する步兵第七十八聯隊第二大隊と朝鮮步兵隊の

▲一個中隊堵列し驛前には土屋少佐の指揮する儀仗騎兵槍を捧て整列せり侍從武官長はカーキー色軍服に勳一等旭日章功二級金鵄勳章侍從武官徽章を佩び一ノ瀨驛長の先導にてプラットフォームに降立てば此の時野砲兵中隊は漢江通練兵場丘阜より長閑なる朝の空氣を震はして禮砲殷々たる間に御慰問使は出迎への各將校に會釋したる後貴賓室車寄より總督府の馬車にて儀仗騎兵に前後を護らせ秋山大將、立花中將國分李王職次官等馬車にて隨ひ堵列步兵の捧銃敬禮中を

▲朝鮮ホテル に入りたり之れより先き旅 朝鮮ホテルに派遣せられたる步兵第七十八聯隊よりは儀仗衞兵として步兵一個小隊は馬車を門に迎へ捧銃の敬禮中にホテル樓上設けの御間に入り十時三十分より各隊上長官の伺候を受けたり

●御慰問使動靜

御慰問使內山侍從武官長は入京後軍隊を巡視し午後總督府に山縣政務總監を訪ひ其れより昌德宮に李王殿下德壽宮に李太王殿下に謁し直接聖旨を傳ふる豫定なりしも列車延著の爲め午前の軍隊巡視は之を見合はせ旅館に於て上長官以上の伺候を受け午後は日程の如く二時より總督府に山縣政務總監を訪ひ又た昌德宮德壽宮を訪問せり但し李王殿下は御異例の爲め閔長官代つて聖旨を拜受傳達せり



御慰問使入京（上御慰問使內山陸軍大將　下堵列の騎兵儀仗兵）

●侍從武官長訪問

二十五日朝入京したる內山侍從武官長は朝鮮ホテルに入り午餐後午後二時總督府に山縣政務總監を訪問入京の挨拶を爲せり

●總督一行動靜

二十四日北鮮地方巡察の途に上れる長谷川總督一行は同夜元山著直ちに乘船の筈なりしも都合に依り同夜は元山に一泊二十五日午前三時同地拔錨九時西湖津著夫れより自動車を驅つて十一時咸興に著し午後より道廳其の他官署を巡察せり

●法主總監訪問

二十五日朝入京せる東本願寺法主大谷光演師は南條村上兩文學博士其の他を隨へ同日午前十一時半總督府に山縣政務總監を訪問入京の挨拶を爲せり

●辭令傳達式

二十五日午前十時より總督府第一會議室に於て左記諸氏に對し頭書の如く敍位及び辭令の傳達式を舉行せり當日は總督政務總監共に不在の爲め國分司法長官代つて之を傳達したり

敍正五位 遞信技師 伊藤定弘
敍從五位 總督府通譯官 新庄順貞
敍從六位 總督府事務官 久芳直介
敍從五位 總督府事務官 神野忠武
敍正六位 總督府醫院醫官 久慈直太郎
敍正七位 醫員 內田銈哉
任朝鮮總督府遞信局事務官補 遞信書記 齋藤小一郎
任朝鮮總督府遞信局技師 遞信技手 佐々木仁

●海面埋築許可

豫て仁川に船渠株式會社を設立せむとの議は奥田貞次郎氏外十一名の發起にて著々進捗中なりしが今回其の鐵道工場用敷地として六月尾町附地先一千六百八十九町四段步の海面埋築の許可ありたり因に該工事は來る大正七年七月末日竣功の豫定なりと

●川崎技師旅程

過般鑛業に關する取調の爲め歐米に出張を命ぜられたる總督府技師川崎繁太郎氏は本月三十日京城發十二月末日迄に出張の事にて氏は先づ米國に渡り夫れより英國に赴き歐洲大陸に出で露國經由歸朝す可しと

鮮銀總裁訓示
支店長會議に於て（上）

朝鮮銀行支店長會議第一日に於て美濃部總裁の訓示演說要項左の如し

遠路來會の勞を謝し挨拶を兼ねて聊か所感を述べんとす昨年十一月圖らず乏きを當行總裁に承け爾來匆忙の間に各支店出張所中或る部分を巡視したるも未だ普く各地を巡回するの暇を得ず從て支店長出張所長諸君の中未だ見ることを得ざるもの少からざるを遺憾とせしに今日斯く諸君と一堂の下に相會するの機會を得たるは欣幸とする所なり

當行創立以來茲に八年其の間の進步發展大に見るべきものあり今や朝鮮半島を根據として其の羽翼を國外に伸張し世界的に活動せんとするの機運に向ひつゝあるは諸君と共に最も慶喜する所にして小職が是の如き狀態に於て當行を擔當するを得たるは洵に幸なると同時に是の機運を追ふて之を大成するに付一層其の責任の重大なるを感ずる所以なり想ふに當行をして今日あるを得せしめたるは前任總裁市原氏の畫策其宜きを得たると重役諸氏並に行員諸君特に其の幹部を構成する所の諸君の勉勵とに由らずんばあらず翼くば將來一層諸君の熱誠なる援助を得て益々當行の發展を期せんことを

▲海外發展の大勢 蓋し世界列國の經濟的進步の要義は海外發展の一事に在り英然り米然り獨然り獨逸の各銀行が其の支店を海外各地に設け又は特種の機關銀行を世界に張りたるを見るときは實に思半に過ぐるものあり本邦も亦最近十年前後に於て漸く其の力を國外に延ばすの機運に進めたるは歐洲戰亂以來著しく其の機運を進め年間其の手を滿洲に張り更に進んで露國に入り又北滿に延しんとするは敢て故らに功を競ひ利を爭はんとするものにあらずして自然の大勢に伴ふ當然の結果に追隨するものに外ならず若し之なくんば即ち是れ大勢に後るゝものなり小職は今後諸君の援助を得て益々此の大勢を追ひ當行の營業範域を擴大して聊か本邦經濟力の海外發展に裨補する所あらんことを期せんとす

▲對外發展の趣旨 然り而して當行が或は露國に延び或は北滿に入らんとするを見て萬一是等對手國人間に多少經濟的侵略を意味するが如き感を生ずる者ありとせば是れ大なる誤解なることを特に一言す凡そ商業は雙方相利するに由て成立するものにして一を益し一を損するもの眞の商業に非ず從て當行の是等對手國に於ける業務は固より本邦の商業に利する所あるも之と同時に亦對手國人の利便に資すべく即ち日露日支間の通商貿易に便するは勿論進んで其の國々の經濟的開發に資す可きものあらんことを期せざるべからず斯の如くして延て日露日支の親善に補する所あらば洵に幸なり（[illegible]）

南北滿洲
膨脹し行く大連

南北滿洲視察團中より 西海生

▼日本の各都市中大連程市街の整斉な所が小綺麗で西洋風な所は恐らく他になからう。市街中央の廣場より光線式、日章旗型か、但しは蜘蛛の巣式と云ふのか八方へ擴がつた理ろ街路は、人道車道の區別判然として、車道はコールターで固め、人道はセメントを切石形に敷きつめてある。煉瓦石造の建築は軒を並べ語居は圓次の光景を呈してゐる。並木の楊柳は新芽を破り、夜は燦然たる街燈並の如く輝き、車馬輻輳、行人雜沓、綺羅びやかな店頭商等市街の狀況は快い程整のつてゐる

▼洋行したら這んな氣もするだらう乎とは、初めて大連を見た感じを少し誇張的に云つた評である。聞いて見ると家屋の建築には未だ大連市街の漸く出來かゝつた明治三十八年の四月、遼東守備軍令で建築規則を設けて大に制限を加へた、乃ち市中の家屋は煉瓦石造耐火壁造に限り、其の軒の高さは一二等道路で三十尺以上三等道路で十五尺となつてゐる大連の市街が出來たのは明治四十年以後の事だから、市中の邦人家屋は殆んど此の規則に準據してゐる譯だこれ現今大連建築の整備せる所以である。又街路の市中の設備は關東都督府の阿片專賣による地方費收入が頗る豐かなため經費を措まず年々投じたから頗る立派に出來上つたのである

▼唯其の外觀の堂々たる程內容も充實してゐるかと云へば必らずしもさうではないらしい。素より約二十許りの內地大商店若くは會社の支店出張所は別だが、自餘の群小商店は、年々若干宛の進步はありとするも、其の營業振りは可なり苦しいと云ふ評判である。由來關東州の土地所有權は政府にある。大連でも旅順でも住民は皆土地を政府から借りて家を建ててゐるのだ、で土地所有たる云ふ言葉は大連で通らぬ事だが、家屋も自己の金で建て而して商賣を營んで行く丈けの資力ある商人が幾人あるかと云へば、心細い譯だが決して多くはないらしい

▼營業所の盛否詮索は姑らく措くとする、大連の街に擴がつて行く市勢は仲々素晴らしい。今日で日本人の數が四萬三四千を超へ、段々新築家屋が郊外に向つて延びて行くため近に附せられてゐる甲町、乙町い號乙町ろ號三十と云つたやうな稱號は行詰り、イロハの片假名を使つても之れ亦致し方がなくなり、結局此頃民政署では全市の町名改正を計畫し目下調査を進めてゐるとの事である

▼此頃市中の表面の景氣は必らずしも惡くないらしい、これ油房の作業が旺盛なのと、新築の興起と、貿易の好調等が倚り和俟つてゐるのだ、最も最近鳥渡三十八片臺の銀が二片方下落したゝめ、支那人側は多少打擊を受けたやうだが、此兩三日來又々持ち直しかけたから騷ぎ立てゐるにも當るまいとの事である、從つて大連花柳界の如きは仲々盛んだ待合と料理屋が鳥渡六十軒もあり、藝妓は五百四十八と云ふ、大連より人口の多い京城に比するも鳥渡二倍の數字を示してゐる、娼樓や小料理屋も仲々少なくない

▼此の序に、民政署の警務課で聞いた市中私娼の取締り方法を記さう、京城と少し異つて面白味がある、大連も兩三年前までは私娼橫行可なり風紀紊亂の感を呈するものがあつた、で昨年警務課は白首の大掃除を斷行し、爾來百二十軒の市中小料理屋に對し色を賣る年少の十七歲以上三十五歲以下の酌婦は原則として拘へさせぬ事としてゐる、コレが京城では一軒二人迄は差支へのとなつてゐる

▼白首退治上には或は大連の方が效果は多いかも知れぬなど云ふ人もある、尙ほ風紀刷新前一千人以上の賣女は大連は目してゐたらしいが其後何方へ逃れたか四散して殆んど今は跡を止めぬと云ふ事である

本社主催 通俗講演會

講演
今上陛下御盛德に就て　文學博士 南條文雄先生
人格高下の標準　文學博士 村上專精先生

日時＝四月廿六日午後四時卅分開始
會場＝南山町高等女學校講堂

來聽隨意

●選舉名簿作成

六月九日執行さるべき京城學校組合議員選擧有權者數は大約八千人にて當局にては目下之が名簿作成中なるが選擧資格は二十五歲以上の男子にして一ケ年以上引續いて居住し組合費五圓以上を收むる者たるべく禁治產準禁治產者及び禁錮以上の刑に處せられしものは勿論選擧權無き者なり府當局は寄留無屆等の者多き爲め年齡其他の調査行屆かず爲めに從來名簿記載漏れの者も多からむと觀測し居れるが寄留其他の事故は此際急届出を要すべし因に名簿は選擧期日（六月九日）三十日前より一般の閱覽に供する筈

●行路病人收容所

從來府當局にては行路病人は警察の手より府當局に引繼ぎ更に南山本願寺、總督府病院其他に委託する事となり居れるが今回京城各宗佛敎組合にて一切之が引受けを爲す事に決定し南山青坡元傳染病院跡の建物を利用して二十二日全部の引上げを爲し漸次施設改良を爲す筈なれば其の收容力も增大すべしと

●御慰問使と大田

御慰問使內山侍從武官長の一行は來る二十八日午後零時三十分著列車にて大田著の豫定なるを以て大田步兵第七十九聯隊に於ては第四中隊を停車場に堵列せしめ儀仗隊として井伊大尉の引率する第三中隊一個中隊を旅館に堵列せしむる筈なるが一行は本町三村旅館に投宿の筈なるを以て別に歩兵一個小隊を出すべしと伺候式は上長官以上聯隊內將校食堂に於て執行せらるゝ豫定（大田）

●被服廠運動
開城人士の蹶起

朝鮮に新設さる可き陸軍被服廠誘致につき開城人士は今回期成同盟會を組織して開城を其施設地たらしむべく極力其筋に運動せん爲め去る十日內鮮人の重なる者五十七名は同地學校組合內に集會し出席者を總て委員とし其內より常務委員內地人五人朝鮮人二十名を選定し其等の常務委員に於て時機を失せず有効に運動を爲すべきことを定めしが爾來數回委員長日井水暖氏宅に集合して凝議し月末迄には設置に關する請願書を陸軍大臣に提出すると共に陳情委員內鮮人四名を東上せしむることゝなれり而して起草委員片岡[illegible]、權文鎬、孔聖學、月山松藏の四氏既に之を脫稿し運動に要する費用は全員之を負擔し且つ陳情委員としては朴宇鉉[illegible]鮮人側より內地人側にては學校組合管理者たる月山松藏に決定したるも鮮人の一人は一兩日中に決定する筈而して此等陳情委員の東上と共に朝鮮人に在ては北鮮唯一の素封家金鎭武氏外二三名內地人に在ては都築氏外二三名委員と共に東上して上京委員を應援すべし尙ほ陳情委員は東上前一先づ京城に赴き總督、軍司令官、道長官其他官廳當局を訪問して陳情を爲すべく目下調印を蒐めつゝあり既に內鮮人二千餘名に達したる趣にして東上迄には市民の全部の調印を了する豫定なりと

●釜山署長更迭

釜山警察署長橋本秀平氏は廿四日附命を以て京城昌德宮署に榮轉する事となり後任者は大田警察署長高橋本房一氏にして近く其の來任を見るべし（釜山）

仁川

▲漁撈傳習生募集 京畿道水產課にては今回鮮人漁撈傳習生數名を募集す可く採用者には食費として一日十八錢を給與し漁獲物の販賣の上は傳習生の營業資金として積立て置く由期間は五月一日より向ふ三ヶ月間希望者は仁川府廳に申出す可しと

▲理髮組合運動會 仁川理髮組合にては二十六日郊外[illegible]樓別莊附近に於て運動會を催す由▲宗祖遠忌法會 既記の如く二十八日光演法主は南條村上兩博士を隨へて當地着錫二十九日午前より宗祖大師六百五十回遠忌法要を修すべく仁川東本願寺別院にては數日前より院內外の設備に忙殺されつゝ有り▲魚商運動會 仁川魚商は二十五日午前より觀測所下運動場に於て運動會を催ほしたり

大邱

▲慶北物產陳列場 慶尙北道にては御大典記念事業の一として慶尙北道地方に於ける[illegible]及び商業よりの寄附金九千圓を以て大正五年十一月慶北道廳構內に敷地を選定し建築に著手したる物產陳列場建設工事は目下著々進捗中にして來る五月三十日を期し全部を竣工せしむべき豫定なるが同建物は總建坪五十坪二階建にして附屬の造作等にて落成の曉は慶北地方產の內へ寄附さるべき筈▲中旬▲出來▲高 四月十一日より二十日までの十日間に於て慶北管內出荷物產改良組合の檢査を經たる米豆數量を見るに玄米一萬二百九叺大豆七千三百二十四叺に達し居れり▲金泉學校組合豫算 大正六年度金泉學校組合歲入出豫算は歲入四千八百二十七圓歲出經常部四千六百二十七圓、同臨時部二百圓にして之れを前年に比し歲入は四十六圓減歲出は經常部二百四十六圓減臨時部二百圓增となれり▲大邱醫學講演會 朝鮮醫學會大邱支部は二十七日の夜大邱慈惠醫院に於て醫學講演會を開催する筈なるが講師は松本慈惠院長外數名の醫官醫員等なりと▲慰問會寄附締切 傷病兵慰問會に對する大邱府の寄附金は合計一百五十圓を以て締切となせり▲尙州自轉車競爭 二十一日午前十時より尙州西門外練兵場に於て開催されたる同地日鮮人青年會の自轉車競爭會は金泉大邱其他各地よりの參加者もありて觀覽者殊の外多く稀有の盛會なりしと▲檢事出張 大邱地方法院檢事正は漆谷、善山、金泉各地視察の爲め二十三日出張したるが五月五日歸任の筈

人事消息

▲安田弘氏（朝鮮銀行長春出張所長）二十四日夜入京不知火旅館へ
▲沼法量師（東本願寺執事）二十五日朝入京巴城館へ
▲沼波政憲師（同上）同上
▲大塚正氏（法主隨員）同上
▲高楠秀橋師（同堂衆）同上
▲栗津操氏（同家從）同朝鮮ホテルへ
▲大澤末吉氏（同書記）同上
▲荒井金次郎氏（同隨員）同上
▲田中鐵次郎氏 同上 同上
▲直柄信哉氏 同上 同上
▲山崎美大氏（滿鐵社員）同巴城館へ

牧山玄齋の當選を得て　壹州勝本にて　欣堂
春の山鹿打ち止めしさわぎかな

二十五日朝入京せる大谷光演法主

●慈愛に輝く句佛上人

―多數の信徒隨喜の涙を浮べて 南大門驛頭に出迎ふ

東本願寺法主大谷光演師は列車延着のため豫定より約一時間半遅れて二十五日午前十時南大門驛に到着せり 隨行は釜山上陸の際と同じく

□南條博士以下 の從者の人々及び釜山まで出迎へたる大寺京城別院輪番、山口、和田の兩氏にて車中には當日午前五時の列車にて永登浦まで出迎へたる森勝次、増田三穗、三好和三郎、天日常次郎、進辰馬、淵上貞助、木島平兵衛、鷹江澤次郎その他の諸氏二十餘名の信徒總代世話掛あり是等の

□人々に對して は車中に於いてそれぞれ接見を終りたるが列車の到着するや歩廊には數百の信徒各宗僧侶主なる官民、愛國婦人會員佛教婦人會員、信友會員等出迎へ法主の來著を待ち受けたり、法主は南條博士その他の隨行者と共に松永道長官、安藤鐵道局參事、一瀬驛長その他の人々に導かれて

□貴賓室に入り 此處にて山縣政務總監、松永道長官その他出迎への主なる官民と挨拶を交換して貴賓室を出で豫て總督府より差廻されたる用意の馬車に搭乘、南條博士、粟津家從同乘して旅館なる朝鮮ホテルに向ひたるが驛前より通路の兩側には

□今日を晴れと 著飾れる老幼の善男善女は黒色の略衣に呪咀袈裟を懸けたる法主の姿を馬車上に認むるや珠數を採みて合掌しつゝ一齊に念佛唱名し中には跌座叩頭する老嫗さへあり、いづれも隨喜の涙を浮かべて慈愛に輝ける法主上人を目送せり、かくて法主一行の

□馬車の過ぐる ところ信徒の老幼男女を以て埋められ南大門通りより朝鮮ホテルに入れり

▽納骨堂の供養 朝鮮ホテルに入りて少憩後朝餐を喫したる大谷光演師は十一時半より總督府に山縣政務總監を訪問し午後二時より南山本願寺別院に於ける納骨堂供養を爲し右終つて本室に於て南條、村上兩博士の講話ありたり

●朝鮮人と通婚せよ

―吹き込むために―日本固有の大和魂の大精神を―大谷光演法主談―

二十四日夜釜山を發した夜間急行列車に句佛上人を訪ふたのは列車が今しも西井里驛を離れてはなやかな春の朝の

▽明るい光線 を窓一ぱいに受けながら水原に向つて走つてる二十五日の午前八時過ぎだつた、七時頃に目を覺された法主が一等寢臺車に新派の俳人にして大谷家の家從たる粟津水棹氏と共に

▽窓に倚つて 春の朝のすがすがしい風色をながめ思索に耽けつて居られるところだつた、記者を見るなり自から敷いて居られた膝掛けの半ばをすゝめられながら頗る打ちとけた容子で話される、法主の力強いしかも涼しい聲は絶えず響いてくる

▽車輪の音を 壓するに十分である『朝鮮の田舍の風物はすべて俳畫的でムいますね』と言ふ記者の言葉を肯かれて『成程然うですね人家の藁屋根の曲線的なのは柔かみがあつて面白い、山といひ畑といひ人物と言ひ

▽色彩の調和 が非常にいゝやうです、しかしあの山はよくあゝまでに徹底的に樹木を伐つたものですね朝鮮に限らず一時に殖民地になる人々には信仰心が薄いやうに見わるそれ丈布教の上にも困難を感ずるがしかし又吾々の努力によつてその

▽道を擴める 事は出來ない事は無い、朝鮮人に吾な佛教を説く事は今日では餘り多くの効果を生ずまいと思ふ、何故ならば長い間に習性となつた極端な現實主義がそれを裏切るからである、今日の朝鮮人には來世を樂しむといふ觀念がない

句佛上人東萊行吟

東萊廳丈その也に花の眞盛り
庭花見る硝子障子に蝶の飛ぶ
風光る鮮人町の煙管店
物問へば鮮人なりし花吹雪く
書舖の春老ひぬポプラ芽けり
蒲公英の絮飛ぶ墓所の小松原
麥の中行く岡衣の女の被衣かな
輪に似し輿に乘り行く柳かな
溫泉の窓に迫る柳の姿遲し

▽未來に生き ようといふやうな考へは絶無である、然すれば來世の幸福を説く吾々の宗旨から言へばその根本觀念の相違してゐる點に於いて之れを導く事は到底出來ないといふ結論に達する、私共の希望としては朝鮮の從來の

▽國民性を改 めて日本固有の大和魂の大精神を吹き込みたいと思ふ、それには内地人が盛んに移住して來て朝鮮人と婚姻を結ぶのが最もいゝ事だと思ふ、亞米利加邊りから移住して來たものには三代も四代も前からのものであり乍ら

▽今回の如き 大戰爭に際しては獨探となつて祖國のために働かんとする者があるのも、その移住民の何處かに祖國の血が流れてゐるのによるのである、血の力は恐ろしいものである、此の意味に於いて朝鮮人には何處までも大和魂を吹き込みたいと思ふ

本社主催 南北滿洲視察團

◇目新しい露西亞式の色彩 盛なる哈爾賓驛の歡迎

二十三日午後四時四十分長春驛に著したる視察團一行は驛頭盛んなる爆竹の聲と官民多數の大歡迎を受け直ちに東清鐵道列車に乘込みて哈爾賓に向ふ寬城子驛よりは驛頭露西亞兵の徘徊するあり露西亞婦人の茶店等有りて今迄の日本支那的色彩は俄然總て露西亞式と變じたり汽車の進行に連れ

◇窓外を望めば漠々たる松花江の大平地は恰も海の如く天に連なり豐沃なる原野は南滿の比に非ず雙城堡よりは哈爾賓官民の代表者須永茂平氏(哈爾賓總領事館員)の出迎ありて午後十一時哈爾賓驛に安著す驛頭には盛んなる出迎あり一行は其れぞれ馬車を驅て旅館に向ふ(二十四日午後九時哈爾賓にて[illegible]特派員)

●スチンソン孃 神戸に到著

米國女流飛行家スチンソン孃は二十五日神戸に到著せるが來月八日歸米の途に著く筈(大阪特電)

●米國人宣教師 獨逸種の妻と妹を射殺

して直ちに短銃自殺を遂ぐ

紐育特電に依れば紐育郊外ヨンカース居住牧師ペリーは十數年前獨逸婦人と結婚し三名の子あり然るにペリーは協商側最負にて妻と其妹は獨逸最負なりしが之が爲め二十二日夜より翌朝まで激論を爲しペリーはピストルにて妻と其妹を射殺し己も直ちに短銃自殺を遂げたり右は甚だ極端なる行爲なれども以て米人の對獨感情の如何を知るに足る(大阪特電)

●露國廢帝を活動寫眞に

米國の一活動寫眞社は露國廢帝に對し一週間五千弗にて活動寫眞の俳優たらん事を申込めりと(東京特電)

●臺灣に大旋風起る

家屋倒潰其他被害夥し 救助を要する者三百五十餘名に及ぶ

臺北來電に依れば二十四日臺灣嘉義廳管内に大旋風起り家屋並に樹木を高空に捲き揚げ打猫、北港、鹽水港の各支廳下に亙り家屋全潰五十一棟半潰六棟大破三十七棟小破三十九棟及び建物全潰三十二棟半潰二十一棟負傷十一名救助を要する者三百五十餘名に達せるが澎湖島にも龍卷起り負傷一名倒潰家屋二十棟を出せり(大阪特電)

●指を切て呪ひの文字を書く

大阪飛田遊廓設置に反對して居る高岡新莊村中川藤太郎(三一)は小指を根元より切斷し二萬餘坪の指定地内を歩き廻り滴る血汐にて祝融來と恐ろしき呪ひの文字を書き持ち歩るき居れり(大阪特電)

●スミス氏 大飛行

鳥人スミス氏は東京廣島間の長距離大飛行を試むる可し(東京電報)

●談合事件聯合審判の辯論

既報談合事件聯合審判は二十五日午前十時より高等法院に於て裁判長渡邊法院長、膳、淺見兩陪席判事を初め石川、村岸、永沼、水野各判事陪席、草場檢事立會ひ辯護人として勝本博士を初め安住、朝倉、内田各辯護士出廷の上開廷安住、朝倉、赤尾各辯護士の辯論ありて正午休憩午後一時より勝本博士の熱誠なる辯論ありたり

●下女、妾、泥棒 呆れた莫連女

山口縣熊毛郡佐賀村生れ當時京城府大門通一丁目渡邊旅館雇女河内山てる(二三)は以前土地調査局の某高官方に下女奉公中惡事を働き解雇されて其後數箇所に下女奉公せしも手癖惡しき爲め長續きせず元太平通二丁目にて飲食店營業せし金杉濟次郎の妾となりて衣類其他無一物となりたるより本年三月十四日より四月十八日迄若草町居住産婆大島すみ方に雇はれ同家より衣類五十六點(二百五圓)を竊取し大部分は自己の行李に隱匿し一部は永樂町に下女奉公中なる實妹たかに預け又は情夫金杉をして黄金町の毛利質屋に入質せしめ其他は水下町田中なつ又は種々の僞名を以て京龍數軒の質屋に入質したることを本町警察署の刑事が探知し取調べの上檢事局へ送れり

●古物商取締違犯

釜山府大新洞古物商松瀬三郎と云へる古物商は本年一月十四日より本月九日迄買受けたる商品數百點を記帳し居らざることを發見せられ古物商取締違犯として廿三日釜山警察署にて科料金五圓の即決に處せらる(釜山)

讀者文藝(一等には五十錢の進物券を呈す)

△川柳「急」
○急用が喰ひ付くように耳を借り (二等) 桂硯 藤井生
▲[illegible]日急に禁酒を思ひ立ち 龍山 多美郎
▲急ぐ品[illegible]用に間[illegible]せ 龍山 岡本小丈子
▲急用な出る人から云付かり 京城 上田生

●網に八人 香川縣生れ當[illegible]大田本町一丁目土[illegible]

●連絡船上陸客 廿四日午前 [illegible]

●課題及募集規定 ▲募集規程 ▲用紙は端書又は[illegible]

商況

債券現物特電

二十五日出來値 [illegible]

大阪株式

東京期米特電

深川正米特電

大阪三品特電

大阪期米特電

下關期米特電

雜報

●地場正米激變 相場の見當立難き程 高潮に達し人氣一段

[illegible]

●利に吸收上非常に不 殆ど準備の持米

場持米筋の賣腰頑強 反響は忽ち地 一圓を最底として十六圓一躍十六 一二十錢を唱へ

●平板引締む

●値鞘の接近 又三十番の二十錢上

●白米小賣値上 五厘方引上

京城正米

京城雜穀

南大門の廻穀

▲市場零聞 ▲大激戰大變動

人氣は今哉熱狂時

●田中 電話長一六二五八番

三巴仲買店 仁川米豆取引所仲買人 仁川港町三丁目 電話四〇二

米相場に上伸 内地現在

一時的作用に止まる

●銀と大豆跳返す 九十錢方跳ね

●製粉更に昂騰 更に一二錢方昂騰 十錢高 更に五錢乃至

●セメント移入難 大口注文品は納付期日の間に合

仁川期米 二十五日前場

大阪前寄十六圓八十八錢と昨止より四錢高の入電一節同事移

八十二錢と安移 直大阪五節 熱狂せる人氣は忽ち買 新高値に沸騰 遂に二十錢丁度

▲人氣動搖す

▲賣物現れ頭間 軟派筋の優

▲人氣は附和雷同 居る買に根底薄弱

▲警戒を要す

仁川米豆取引所 二十五日の六月限

仁川現物市場

釜山穀物(廿四日)

生魚市場

▲日の大商内 ▲今の大商内 ▲イの大商内 ▲下の商内 ▲三の商内 ▲リの商内 ▲十の商内 ▲全の商内 ▲今の商内 ▲新高値出現

大五仲買店 仁川米豆取引所仲買人 海岸町三丁目 電話三〇九四九一三

今村覺次郎 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 電話三六八七

……遂げたる客觀的の證據を擧げたるを……旋家命生徳大郎(三〇)同上無職松本……以て四月十三日其々檢擧し取調べの上二十三日檢事局へ送らる

◆南北滿洲視察團畫報(七)

(上)二十二日午前九時半湯崗子驛に到着
(下)團體一行湯崗子温泉場清林館に入る

◎大繁昌の骨董界

▽數千金を擲つて買ふのは株式界の人に多い

呼吸もつかせぬ好景氣、昨年の伊達家入札以來グツと油の乘つて來た骨董界はこゝもと秋元子爵家や赤星家の大入札を控へて多々益々上景氣

▼賣手も買手も 全く有卦に入り過ぎた形であるがそれにしても能く資の庫が盡きぬものそして更にこれらの品々を疲れもせず買ふ人があるものかなと泌々感心する、一體どんな人々が買ふのであらうと內々探つて見ると華族樣はお金があつても却々買はうとはせず買ひ役は如何しても實業家に多い、詰りこれらが美術倶樂部の御定連、道具屋の御贔負である、そして御定連には必ず

▼一軒や二軒の お出入のが付いてゐてこの道にはこの道の道德があつて決して他の道具屋のお客樣を犯さうとはせず何處までも自分のお客樣だけに忠勤を擢んでゝゐる、仍で何によらず入札のある毎に數十金を擲つて買物をするのは株式界の人に多く織田昇次郎氏や山中清兵衞氏等がその尤なるものでお出入の丁字屋或は松原に命じて何か面白いものをとある

▼此處らの註文 は道具屋も大に樂であるが以下に記すお歷々になると既に一家の見識を有つてゐて註文が六ケ敷いその代り氣に入つたら數千金、數萬金も恬として厭はぬ朝吹英二、根津嘉一郎、團琢磨、馬越恭平、益田孝の諸氏がそれで何と云つても骨董界の元老大黑柱である朝吹さんは平山堂、根津さんは川部、團さんは中作宗與、馬越さんは山澄梅澤、益田さんは多門店と云ふ樣にお出入をちやんと決めてゐる、多門店の主人は益田孝さんの實弟英作氏が主人である、原富太郎氏は

▼美術院の一派 を保護する傍ら骨董類に心を寄せ中作や平山堂に命じて掘出物を獵つてゐる、最近掘出した物に二萬九千圓の元信の山水がある、「ミツワ」の主人三輪善兵衞氏も近頃盛んに買ひ初めた、其他三井八郎次郎、同元之助、吉田丹左衞門、加藤正義、古河虎之助、原六郎、伊東巳代治の諸氏は孰れも常連の無くてならぬ面々、高橋是清男もその一人だが政界の人となつて以來ら美術倶樂部に顏を見せぬとやら(東京)

◎高女生徒遠足

來る二十八日仁川府へ

既報の如く仁川高等女學校にては二十八日春季遠足を試みる由なるが當日は午前八時校庭に集合花町道路より府仁川府に至り文鶴山頂の舊城趾に登攀東南方面に下山の上玉蓮里の濱に至り更らに海岸を傳ふて東山農場に至り歸仁の豫定なるが里程は約四里なりと

◎北漢山の史蹟(一)

稻田春水

左は二十二日本社主催の北漢山登山會の際三角山重興寺跡にて稻田春水氏のなしたる講話なり

北漢山は申す迄もなく、滔々と住ひして居ります京城の無花を飾る美しき背景となつて居ります許りではありませぬ、地理上から見ましても天然の分城廓を形造つて實に要害の位を占めて居ります、此山は遠く北鮮の白頭山から起つて、京元線の洗浦驛附近の分水嶺から迂曲して參りまして

▽その山脈 が西に走つて來て、一は揚州の道峰山となり、一は此北漢山と爲つて居ります、此の山は御覽の如く金剛花崗岩から成りまして、山骨が露はしました有樣は丁度私共の頭と「ハンカチ」であります、山の名稱は幾つもあります、華山、三角山、負兒岳とも稱します又、白雲臺、仁壽峰、國望峰が元として三角形を成して居ります所から三角山とも申します、山の高さは此處の重興洞が海拔一千二百……海拔二千七百五十八尺あります、古い歷史を見ますると、高句麗、新羅、百濟の三國が鼎立して居りました時代には、此の山は彼の漢江と共に毎に三國の

▽勢力爭奪 の中心であつた樣に思はれます、此の山の周圍に散在して居ります所の史蹟を研究して見ましたならば、隨分興味のある史料が獲らないかと思ひます、これから、その史蹟のことを御話せんければならぬ序となつて居りますが、私は別段に索要もありませず、餘り飾忽に講演の御約束をしましたことを後悔して居ります、且つ突嗟の際で調べる暇もありませんから、唯思ひ付いたことの一つ二つを申上げて諸君の御清聽を煩はすことは誠に申譯ない次第で御座ります、先づ一番手近の處より申上げます、此處所は往昔重興寺の跡であります

▽最近まで 廢絶して居た寺の址で燒け殘つた此方の一部がこれなる建物であります、寺の沿革に詳しくは二十年前火災に遭ふて……恐らくは高麗の物か或は新羅……

寺は北漢山の中で歷史上の古刹である許りでなく、今日朝鮮佛教界の禪教兩宗の寺院に於て最も……子の僧侶から所謂宗門の開祖と仰がるゝ所の高僧であります太古普愚國師が一時此住されたのであります、そこで坊さんの傳記を一寸御話し申します、普愚國師は十三歲の時出家して幾多の修業を積まれて三十八歲の正月七日の五更に、豁然として大悟された、その時

▽頌八句を 得ました、その中に『打破牢關後淸風吹太古』と云ふ結句があります、そこで太古と名けました、四十六の歲に支那に航し、時の名僧湖州霞霧山の石屋清珙禪師より臨濟十八代の正傳を受けて、名聲、支那四百餘州に隱きましたが、時の順宗帝の召に應じまして、說法をして金襴の袈裟や沈香、拂子杯の賜を拜したそうです、それより三年振に朝鮮に歸て漢江龍城なる揚平郡の小雪庵に居りました、その時、高麗の恭愍王が國師の高德を敬慕されて王師として……尊崇されました、その後辛旽と云ふ惡僧の讒言に……

▽幽閉の身 と爲りましたが、程なく赦免されて、元の通りの待遇を得らるゝことゝなつた、その後八十二歲の高齢で揚根の小雪庵で遷化されました、そこで國師の門人が茶毘に付して國師の因縁ある三箇寺に遺骨を分けた、その內の一つは向ひの小丘の甎塔に納つて居るのであります、甎塔と云へば、筑前琵琶の芳洞に『浮居の上なる鴻の巣を大蛇が狙ふに似たり』と云ふ文句を思出しました、皆さんの中に浮居を御覽にならぬ御方が若しありましたならば老弟の爲に御覽になることを御勸め致します、それから大雄殿(今太古寺)の背後の幽閉の中の古碑は高麗の學者李穡の撰んだ普愚國師即ち圓證國師の塔碑銘であります、これ亦讀んで御覽になれば私が前申上げた様なことが刻まれております

▽此の石碑 と丘の甎塔とは何れも高麗の末即ち明の洪武十八年今を距る五百三十餘年前の製作であります、碑文の末尾に署名されてある判三司事李成桂は即ち李朝太祖のことであります

◎竿釣隊と投網隊の大捕魚戰

春川發動機關隊員野遊會

天麗かにして新綠滴たる春川の名勝昭陽の江畔に於て二十二日在春川警務機關隊員一同の家族的大野遊會の催しがあつた午前五時總司令部の作戰に基き赤澤副官福岡獸醫等の竿釣隊の一隊が西軍となりて

◆華川江方面 へ出動したるに續いて野上署長の率ゆる投網隊が北軍となり牛頭山方面の江畔に遠征を試み何れも本部及び分隊の勇士を以て編成せられたる當日の呼びもの引網の別動隊は中央軍となり玉山市の沼池を固め殘餘の勇士は獨立重砲軍として昭陽江畔の要塞線を守り茲に尾も逃さじと花々しい大捕魚戰が開始せられた一方昭陽亭內の總司令部には藤谷部長を始め池田分隊長等早くも午前十時より當日の審判をなすべく山崎情報局長より續々と達する時々刻々の情報を蒐集して決勝時間の至るを待ちこの時既に當日の

◆觀戰武官連 ヒシ〳〵と總司令部に詰めかけ設備係菅井警部遠藤軍曹の繁忙一方ならず此の間に員の斡旋宜敷を得て遺憾なく設備を完了したかくて總員手に汗を握り各方面の戰況如何と眺め待つこと二時間いよ〳〵決勝時に至るや第一北軍の野上枝隊第二西軍の赤澤福岡枝隊其他獨立軍交々凱歌を奏して引揚げ捕獲魚

◆無慮一萬に 達し其々審判官の審判を經て逐次彈丸鑄造所なる藁木計手の手に引渡された然るに玉山市方面に向ひたる中央軍の消息更に不明となり情報局の搜査隊もその効を奏せず空しく引返した審査部に於ては致し方なく中央軍の戰功を認むる能はずそれ〳〵賞品の授與を行ひ當日の

◆遂に西軍の 一等賞は 競將福岡獸醫の手に落ち二等松木氏三等野上署長となり赤澤副官僅か二尾の差にて四等を重松氏に奪はれ頗る興味ある賞品の授與を終り引續き酒宴に移り席上其處此處に天狗連の功名談が湧いて樂しい一日を送つた(春川特信)

◆苗木賣行好況 仁川敷島遊廓裏種苗園に於ける本年苗木販賣高は例年に比して二割以上の好成績を擧げたる由であるが、これは仁川に於ける植樹勵行の結果で需要者は重に仁川府廳、神社其他各方面目下苗木は餘す處無く時節柄の鉢物の準備に著手しつゝ在りと

▽初夏の子供服△

春の間著について晩春から初夏へかけて著る子供服は先づ嬢ちやん方の物では紺ボーラで是は六人物とは違つて柔かで

▽輕い所 が取得です色は外に茶、薄茶などがあつて地は一體に薄い方、立縞を共糸で現はしてあつてどこまでも瀟洒な感じが伴はせてあります、毛織物では男兒はチエビオツトがよろしく、これはスコツチに似てスコツチよりも薄く

▽色には 薄茶に背糸を飛ばして目立たぬやうに置いたもの、又は黃ばんだ茶などがあつて、一樣に草色がかつたのが一般流行色の基調をなして、見た所

▽輕快な 調子のものが喜ばれてゐます。ホームスパンは聞著にも用ゐられてゐますが、然し大人用のとは違つて地が薄く極柔かなものです、縞は細かな格子縞が評判よく黑と鼠と白、黑と茶、茶と鼠などの

▽見た眼 のぱつとしたものが女の兒向きとして流行を作らうとしてゐます、瓦斯物では白茶鼠に薄茶などを微塵縞のやうに交せ織りにしたものや、ポプリンなどの茶、紺、青磁などの無地で目が顯潮のやうな丈夫一式のものがあります絹物では

▽矢張り シルケツトですが、これは地が少し厚いので、學校服などに適當でせう。格子縞が多くて白地へ黑、茶または淺黃などを取合したものもあります。型は從前からの

▽流行型 に幾分手を加へたもので、セーラ型が全盛といふ外には大體に於いて變化はなく、唯男兒なら上著とズボンとを地變りにすることで、女の兒も同じく上著とスカートとを別にすることで、これも見ると眼に變化があつて子供を愛らしく見せます

可演藝案內

有樂館 早川演藝部直營 電話一二〇九番
四月廿六日より三日間限り公開する封切大寫眞 ▲泰西悲活劇「現はれた伯爵」全三卷 ……

浪花館 明治町 電話二六〇
……

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店
四月二十日より特別大興行 ……

御成座 御成町 電話一一九一
第九藝題 新派寫劇 靜間三郎一行 ……

黃金館 電話三三七六 六五二 天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店
……

寫眞

寫眞出張撮影 寫眞銅版・亞鉛凸版 ……京城日報社寫眞製版部

一千反限りの縞セル 正金用金指輪進呈
東京流行縞セルが一反只の一圓九十五錢で買ふとは……東京日本橋區本石町壹丁目呉服問屋關谷商店……

定期取引は危險 …… 東京市日本橋區坂本町十八 桐生屋株式店 電話浪花二二五一・二四五一 三五〇五・三五九〇 振替口座東京 電信受信略號トウケイヤマボツキ 發信略號(キリフ)又は(キ)

時計貴金屬指輪眼鏡商 地方の御注文は代金引換にて送る 京城本町二丁目 三浦天龍堂 電話一〇〇二 振替京城三〇四

內科 外科 小兒科 花柳病科 入院隨意 京城長谷川町 安東病院 電話七三三番

クセニオナラズ よく通じる 健通丸 大阪 參天堂藥房 發賣

お花見に旅行用「魔法瓶」(中無取替) 京城本町二丁目 熊平支店 電話長六二四番 振替京城二二二番 東京パイン萬年筆出張所

休業廣告 明二十六日東本願寺御門跡猊下並に隨從諸師の御來館に依り臨時休業仕り候 大正六年四月二十五日 靑木堂樓上 カフエーライオン

醇良清酒 白鶴 仁川本町三丁目 增本酒店 電話一〇九番 振替京城六一九番

鑛山用 漁業用 カーバイト 酒精 燒酎 各驛各港揚本社直積御注文に應ず 釜山港 福榮商會 電話一一三 一九三

大平町大夜市 五月一日より開始仕候出店希望の方は至急事務所へ申込を乞ふ 大平通二丁目京城通信社內 夜市事務所 電話八七五番

イケダ小兒病內科醫院 京城三越呉服店前(入る旭町四丁目) 池田季雄 電話 醫院一三四番 自宅八八〇番

昔も今も 効能で賣れる ひえくぞり 效能 逆上を引下げ便通をよくし黴毒其他諸毒を下す 大日本大阪高津 電話南七三〇 振替九七三 本舗 伊藤長兵衞

貯蓄預金 元金百圓ニ付日步壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候 株式會社長崎貯蓄銀行代理店 株式會社十八銀行京城支店 同 龍山出張所 諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

內科 小兒科 京城日出小學校前 多々見醫院 入院隨意 電話九四〇番

明君道中記

第百廿六 席田邊南龍口演

天下の偉人大久保彦左衞門、今宇都宮城内に於て時の將軍家光公を害せんとする謀叛の計畫知れ石橋驛にある將軍及び供方の大名旗本評議に及んで居りますを泰然と、假睡を貪つて居りました、處が家光公その節にお氣が付いてか彦左衞門の方を見た早速側の者氣を利かして起しました

○『大久保殿、天下の一大事出來いたした、御不穏であるぞ』彦『ハ、ア、何んだ〳〵天下の一大事だと、是は怪からん、如何な事が出來いたしたか、それを拙者にお聞せ下さい』

○『そは申す迄も無い今晩宇都宮城内へ乘込うといふ塲合に至つて城内には釣天井といふ物を造へ上樣を討ち參らせやうといたす上野介の謀叛、藤右衞門と申す者の訴によつて是を知ろ』彦『何んだそれか、それは存じて居る』が外に又何か出來致したかと』○『其處に出來ては大變だ』彦『ハヽヽアそれでは城内の釣天井だけで外には何もござらんのか』○『左樣』彦『イヤハヤ各々方は平素高慢な顏をして居るが何か事が出來ると役には立たん、笑ふに堪たことでござる』○『貴殿の申し分ではあるが』彦『過言だと過言ではない、高の知れたる小鳥籠同樣の宇都宮城内に釣天井なぞと鼠陷し如き物を造りしに驚くといふは何事でござる、此の彦左衞門が天下の大事といふは關ケ原の戰、大阪の役是等は天下分目の戰にして實に是等を以つて天下の大事と申す各々方は然ういふことに出合つた時はお氣の毒だが眼でも眩すだらう』と彦左衞門相變らず惡口を申します、今彦左衞門の云ふことを聞いて諸侯方も成程と思つた、例へ釣天井があるにしろ其の塲へ立寄りさへしなければ決して間違ひは無い、此處へ氣が付かぬ我々の無念、今彦左衞門に云はれて始めて心付き各々流石たい樣子でございます、是をお聞き遊ばして家光公『家『彦左』彦左が天下の一大事で無いと云ふか』彦『イヤハヤ笑ふに堪たることで、斯く申す彦左衞門十六歳にして大久保平助忠教と云ひ天正三年高ノ巢文珠山一番乘一番槍一番首』家『それはもう度々聞いた』彦『度々ではござりませうが、武邊の者なりとの御言葉を頂き、神君戰塲の御供に一度として缺けたることなき彦左衞門、一大事といふは大將の首を失ひ其の首を敵の爲に取られしことを一大事と心得る、高の知れたる子供欺しに等しき釣天井、然るに諸大名御供いたして居りながら一大事〳〵と立騷ぐは何事なるぞイヤハヤ一同の狼狽笑ふに堪たり、云ふて見れば宇都宮の釣天井、あれは越前、敦賀の大谷刑部少輔の考へで、江州水口城主長東政家に指圖いたして神君を失はんが爲に造へさせた釣天井幸ひにして神君其の災に罹ることを免れ玉ひしが、其の繪圖を覺ね居る者あつて宇都宮城内へ布いたものと見ねまする、大きく云へば釣天井小さく云へば鼠陷しも同樣のもの、又十八萬石本多上野介十七萬石の[illegible]廿四萬石の鳥居[illegible]の者共が如何なる働きをしても此の大久保といふ大鵬が一つ羽叩きをすれば皆地に落ちる、天下の雄戰塲生殘りの拙者が宇都宮につて大きな息を一つ吐けば粉末微塵になる』とカラ〳〵打笑ひました。

三

四月廿七日 九星
舊三月七日 巳亥
本命三碧 東成 先負

▲三碧 天赦を逸す事有る 日往蔵新事見合 地の方は吉暗剣殺▲四緑 困惜多く常の如な成事す萬進で利有り 後ハ追くより來る▲五黄 寸捗がるゝ事有る 日新事手控舊事は吉買物に心せらるべし▲六白 不思議の事有る 日新事手控舊事は吉衛生に注意せらるべし▲七赤 納せざる事有る 日新事手控舊事は吉貸借ハ仲人せめがよし▲八白 力身損の事有る 日新事手控舊事は吉尚散財を防がるべし▲九紫 大望の事は[illegible]居住所 大學名弘求職 建築 金件婚禮等傷[illegible]に勝の日▲一白 徐脳の 日韓居術薬人門名[illegible]金件婚禮水物商等は吉▲二黒 氣腐の事ハ日新事手控舊事は吉女子は行儀を守るべし

宮内省御用達 最上清酢
登録商標 MARUKAN
品質及釀造高日本第一也
美味滋養に於て日本第一也
京城太平通二丁目
日本醬油株式會社京城出張所
電話二四九五番

肺藥進呈
當所發見の天光で諸肺病肋膜は勿論第三期重肺結核が眞實治するや否や論より證據四日分試し下さい新聞御送り次第只で上て是非助けたひの
長崎小ケ倉 本願寺説教所

ダリヤカンナ カタロク無代進呈
京城西大門外竹添町二丁目
東京 千草園分園

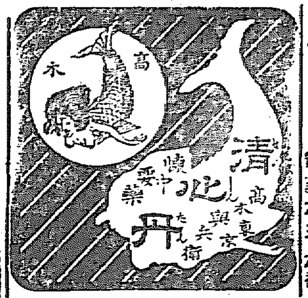
りん病 ばい毒
本劑は殺菌力强大にして些の副作用なく急性慢性淋病及び各種梅毒性諸疾患に服用し最も安全迅速に治療の目的を達す
一週分 梅毒 普通 金壹圓二十錢 特製 金貳圓
痳病 普通 金壹圓 特製 金貳圓五拾錢
京城永樂町二丁目交番北 東京ドラッグ商會 京城本部

書画用 絖画絹
京染呉服商 きや出張店
京城永樂町二 電話一一九六

わきがにて今迄彼是と他の藥を用ひ効なき方は一回ファーザーを御用ひあれ藥價六十錢
京城黄金町三丁目 電話二九四九 山田文殊堂藥房

りん病 消渇で困る方 多年の慢性も
自宅で人知れず安全秘密に治す良藥あり只一劑を試よ此藥は他の藥店になし切手三錢添一日も早く申込あれ其良藥と自宅治療の詳細を敎ゆ
名古屋市南かじや町 武藤龜吉

香り床しき 金鈴香水
美髪となる 金鈴香油
質 堀佐營業所
京城黄金町二丁目入(永樂町停留所北) 電話六三九番



MITSUWA HAIR LOTION.

Apply a few drops of the lotion after washing your hair, you will at once notice the delightful sensation of keeping your hair clean, sweet and healthy. It has a fai t, yet delightful smell. It is the best lotion known to remove dendruff, stops scalp it hing and prevents hair from falling.

Price 50 Sen and 80 Sen.

EAU DE FLEURS

made from the best materials by a perfect chemical process, has a delicate and exquisite fragrance. The application of this Mitsuwa Lotion to your underwears, towels, handkerchieves, sheets or water when washing or bathing, will be charmful and quite refreshing.

Price 45 Sen and 70 Sen.

MITSUWA LIQUID SOAP.

The very best materials of exquisite fragrance are blended in Mitsuwa Liquid Soap. It refreshes, invigorates and delights as no other soap can. It makes the skin soft smooth and beautiful whilst it does not injure even the tenderest of skins.

Price 35 Sen and 50 Sen.

■馥郁たる芳香を有する理想的純良化粧用水石鹼
○ミツワ水石鹼
從來の普通水石鹼には刺戟甚だしく皮膚毛髪を傷ふもの多きに反し、此⊛ミツワ水石鹼は優秀なる原料と馥郁たる芳香料とを以て精製せられ、洗滌に際して隨意に適量を振出すことを得、他人の使用せる後にも些の不快を感ぜず、皮脂の分泌多く皮膚粗糙なる本邦人の理想的化粧用水石鹼として、最も好適のものなり。

■芳香馥郁たる家庭用肌着香水オー、ド、フラール
○ミツワ花の雫
從來の家庭用香水には徒に强烈なる香を放ち、手巾衣服等に振掛くれば、汚點を殘すもの多きに反し、⊛ミツワ花の雫は人を魅するが如き床しき溫雅の芳香を有し、毫も汚點を殘さず、肌着、手巾、寢具の敷布等に振掛け、洗面盤浴湯等に用ふれば、清涼の感を得ること、本品に優るものなく各家庭に常備すべき優良なる家庭用肌着香水なり。

■毛髪の營養料頭髪用衛生香水ヘーヤ、ローション
○ミツワ月の雫
優良なる品質を具備し、毛髪の衛生に適するミツワ石鹼を以て毛髪を洗滌せる後此⊛ミツワ月の雫を用ふれば、爽快の感を得、毛髪の發育を助け、毫も之を傷め害ふことなく、色澤を艶美ならしめ、脫毛及雲脂の過度を防ぎ、整容を良くするに特効ある美髪料なり。故に毛髪の衛生に留意し、美髪を欲するものには、實に理想的の營養料頭髪用香水なり

○ミツワ水石鹼 定價 金三十五錢 大壜金五十錢
(現品縮寫圖)

○ミツワ花の雫 定價 金四拾五錢 大壜金七十錢
(現品縮寫圖)

○ミツワ月の雫 定價 金五十錢 大壜金八十錢
(現品縮寫圖)

ミツワ石鹼 ミツワ家庭藥
東京市日本橋區馬喰町四丁目 振替東京七一〇番
丸見屋商店
營業部電話特許浪花三〇・四四八・四四九・四五〇番

眞の化粧は
紅！白粉!!をつけるより
日頃持薬に
婦人良藥 中將湯を召上り
血の道婦人病に冒されぬ
櫻花のような肌の血色
これがホントの健康美

主治効能
●子宮病(子宮内膜炎)にて白帶多く前にたゞれ又下腹腰足の引つり痛む人
●婦人神經(ヒステリー)血の道にて氣鬱ぎ癇高ぶり物を苦しみ夜眠らず
●月經不順月經滯り等にて吹出物多く又何んとなく身體惡き人
●逆上頭痛眩暈し肩こり腰足冷ゆる ●息切れ動悸動く手足痺れ水腫
●十七八歳になつても月經なく血色惡く又月經の前後に下腹痛む人
●白帶赤帶下多く顏色蒼白き人 ●冷症にて難産流産の癖ある人
●産後何となく常ならざる人、嘔吐、産後古血の滯り或は日立惡く
●此外子宮血の道月經不順に起因する諸病にてぶら〳〵と惡き人

定價

二日分	廿錢
四日分	三十五錢
一週間分	六十錢
二週間分	一圓十錢
三週間分	一圓六十錢
五週間分	二圓五十錢

●加減藥あり容體詳しく申込め
一週分 七十五錢
四週分 二圓五十錢

婦人衛生手引 (申込次第無代進呈 要郵券二錢)

本舖
東京日本橋通四丁目(電話本局六二、六三〇三)
津村順天堂本店 振替口座六〇八番
大阪堺筋大寶寺町(電話南二十五番)
津村順天堂支店 振替口座大坂四五六番

○中將湯は世界各國至る處の藥店に販賣す市內配達無料

京城日報

四月廿六日（夕刊と合せて八頁）

第三版

▲依然底强し　前場頭困たる模様なりしも強て晴天なると就譲筋も安値は買り進はざるより後場大阪の變らざる入電に十三圓二十一錢と寄付たる

▲後場の手振　重なる商内賣ケ◎八千餘石◎五千餘石◎合二千餘石◎全三千餘石◎六千餘石

▲今能く買る　今後同店より賣りたる玉數三千餘石に上りたりとの事

▲全の商内　後場同店より賣りたる玉數八千餘石買たる玉

▲⑪の商内　後場同店より賣りたる玉數三千餘石買たる玉

[illegible]

講和の根本條件
償金千億馬克
血の好き獨逸新聞紙

獨逸ケルン發行ケルニッシエ、ツァイツング紙の日論左の如し

△戰爭終結を豫期しきる今日に於て獨逸が戰後負擔すべき納稅額を推定するとは不可能なるが今本年の秋に終熄すと假定するも獨逸の軍事公債は七百億馬克に達すべし今日迄の內債は凡そ五百億馬克なれど今後は一層軍需品の製造と勞働者の賃金とに多大の費用を要すべし七一億馬克の利子は每年三十五億馬克を要す之に一分宛の返濟金を加ふれば四十二億馬克以上に達すべし倘ほ獨逸政府は聯邦諸國と自由市とが提供せる戰費を辨償せざるべからず、此金額も二十五億馬克を下らざるべし加之今日迄戰死者及び其遺族に對する恩給の額を調査すること能はざりしが戰後益々物價の騰貴するに當り之を增加すると共に廢兵の扶助料を拂はざるべからず是亦二十億馬克を超過すべし、更に又國內及び植民地に於て敵軍の襲擊を蒙りたる人民の損害を賠償せざるべからず、露軍に襲擊せられたる東普魯西の損害に對しては政府より既に二十五億マークを支辨せるが倘甚だ不足なり倘交戰國にある獨逸人民の沒收せられたる財產の賠償金及び軍需品の製造に消費せる資金を支辨する爲に要する金額も每年約二三十億マークに上るべし斯の如く

△直接戰爭の結果として現るべき費用は一年に凡そ百三十億マークを算すべし、健全なる財政狀態にありては公債を以て補充すべきものは生產の目的に供すべき費用にして生產を目的とせざるものは納稅によらざるべからず、而して戰後窮迫せる財政狀態に於ても國民の損害賠償と禍を蒙りたる地方の回復に要する費用の一部は信用に於て支辨するも可也若斯くすとせば之に依つて公債を以て補充し得らるべき每年の費用約九十億マークを擧げ得べし而かして一面國庫收入を增加する爲めに先づ電氣事業を官營となし又從來聯邦諸國の財源たりし直接國稅を帝國に移し奢侈品に課稅し相續稅を引上げ且つ產業に全精力を傾注せざるべからず、而して國內の財源以外には吾人を斯の如き窮狀に陷れたる敵國の財源に依らざるべからず故に先づ第一に戰爭償金を念頭に置かざる者は實に國家財政と國民經濟とを破壞するもの也、若し政府者にして償金を得るに躊躇するが如きことあらば國民自ら進んで此平和の重大條件たる

△償金獲得に努力せざるべからず、償金無くんば講和の締結は不可能なり、吾人は最も高價なる保證として大工業を有する白耳義を有す、又佛蘭西の重要なる地點をも有す、大發展を遂げたる鑛物業と無盡の山林を有する波蘭を領す、農業に富める土地と無限の石油とを有する羅馬尼を收めたり、斯の如く大なる抵當を掌握せる獨逸の要求は滿足せられざることなし、佛蘭西の上院議員エモン氏は獨逸より千億マークの償金を要求すべしと言へるが吾人も亦敵國に對して同額（即ち千億マーク）の償金を課すべきなり即ち敵國は媾和條約に基きて五六年間に每年五十億乃至六十億マークを獨逸に支拂ふが當然にして平和克復後の數年は我國に缺乏せる原料品を以て支拂ひ其後は正貨を以て支拂ふべし之を要するに財政經濟上より論じて償金の要求は媾和の根本條件なりといはざるべからず

中立地帶金產地（三）
△滿洲に於ける

△金線溝　新店の西南約三里英の河右側の溪流の左岸にある村にして莊河の北約十里とす其地質の大部は硅岩層にして溝の東側には角閃花崗岩露出し其一部は岩脈となりて硅岩を貫き鑛床は其接觸部に胚胎したる者の如く相當の收金量を有す

△侯家屯　吳家屯の西一里半にして南北に走れる小山脈の東麓にあり地質は硅岩及び粘板岩より成り鑛床は耕土の下三尺位は硅岩礫と同岩の稜角ある片塊及び小さき硅岩片の混雜せる砂礫層にして其厚さ三尺位あり其下は粘土及び褐赤色の土砂に含まれして砂金は此褐赤土中に含まれ其粒大にして產量も多し

△棒棰溝　岫巖より莊河に通ずる街道の一驛新店の東南一里半にある溪流に沿へり附近に林家堡子といへる村あり地質は閃綠岩に貫かれたる雲母花崗岩より成り鑛床は林家堡子の上流二町程の處に在る石英脈中に多量の黃鐵鑛を含むもの北二十度西に走り西南へ七十度の傾斜を成し溪澤を超ゐて北方約一町に其露頭を追跡する事を得べく其膨脹は三尺四寸にして含金量少からず

△翻車溝　孔家屯の北一里餘の溪流に沿へり棒棰溝とは僅かに小山を隔つるのみ地質は角閃花崗岩より成り鑛床は之れを貫ける石英脈にして溪谷の頭部四五百米突の高地に現はる其走向は北六十度東々南六十度の傾斜を成し黃鐵鑛を含有し其幅三四尺に達す含金量は有望なり

△松樹溝　前窪塘の小字にして岫巖の西約八里に在り西黃嶺を越ねて岫巖、蓋平間の街道に當れる梁家店に達す其距離三里なり東方溪流に沿うて下れば新屯に到る同間僅かに三里なり地質は普通の黑雲母花崗岩及び白色長石の斑晶ある黑雲母花崗岩にして石英脈の之れを貫けるもの二三箇所あり松樹溝の東溝を小鑛洞子溝と稱す處にも亦石英脈二箇所あり其含金鑛を含有し金の反應著明なり

本社主催　通俗講演會

講演
今上陛下御盛德に就て　文學博士　南條文雄先生
人格高下の標準　文學博士　村上專精先生

日時＝四月廿六日午後四時卅分開始
會場＝南山町高等女學校講堂

來聽隨意

注意
一、會場の收容力自ら限りあれば滿員の際は遺憾ながら入場御斷り可致候
二、會場內には來賓席、一般聽衆席、婦人席の設けあれば來聽各位は豫め混亂せざる樣御注意願はしく候
三、靴の外、土足にて入場御斷り致候來聽各位は新聞紙の類御持參にて下足は各位自ら包みて御持込有之度候

鑿潮零語
兵士としての米國人
山縣生

民國人の中には米國人を誤解して居る者が少なからずあるやうである。米國人は平和を愛し、金錢を尊び、發明力に富めど、武勇の點に於て劣り、兵士として戰に堪へぬと考へて居る人が多くあるやうである。然し斯の如きは大に誤れる考へである。成るほど平時の米國は軍備甚だ貧弱なれど、それは米國の立國の基礎が平和主義に置かれねからである。我國に於ては軍人は社會上高き位置を占め、其待遇も他の職に在る人に比ぶれば上等なるが故に、國民の最も優秀なる分子が軍人に就けど、米國に於ては其反對で、軍人は比較的輕蔑されず、兵卒の俸給は甚だ低い。此故に智力體力共に優れる青年は多く他の職に就きて軍籍に入ることは稀である。平時の米國の軍備の甚だ振はざるは主としてこれが爲である。然しながら一朝事ある日に當りては米國は決して弱い國ではない。愛國の念も何人にも優るとも劣ることはない。義勇の精神に强きは歐洲の大戰に際し義俠の精神に驅られて佛國の戰線に立てる米國人の數既に五萬を越ゆといふ。これ決して弱い國民の爲し得る所でない。非戰論の主唱者たるブライアンすら、愈々開戰とならば一兵卒として出征することを志願したといふ。これはかり强い事をいふ我國の黃政治家に此眞似が出來るか如何か。

日報詩壇
安永春雨選

○湖南遊草
論山驛所見
寒烟蕭蕭讀朝暉。渺渺沫田群鶴飛。詩筆難酬好風景。重遊須試寫眞機。
評曰　第二句湖南實况、第四句新奇

全州途上
平田萬頃夕陽移。遠嶺黛煙鎖碧姿。白龜飛路如砥近。在膝遠山周。
評曰　亦是新曲奇

遠白雪映斜陽。龍麥撫背竹倫亞東。僕不知風物異。唯言今歲又豐穰。
評曰　新臘以來寒威凜烈、南鮮到處竹樹失色、此詩前半能寫實際者

登全州南門
樓上門不耐情。江河映帶夕陽明。花鎗發地眞湖南第一城。
評曰　清淡婉妙於言情

自全州至裡里汽車中與廣瀨主計監佛人宣教師一族同室
倜儻乘宜敎人。陸軍少將父爲隣。花雪指低支頰。知是一枝巴里春。
評曰　後半何等艷麗

松汀驛憶學頭詞宗在木浦
宦游何日事匆忙。全北全南鐵路長。道不隔君爲南海。雁行無暇話徜徉。
評曰　眞情吐露

江景驛所感
南地客序少。兒童苦辛多。長短三五驛。驛過山河。聽雞出分戴星入。奈雪倚門情仰。
評曰　在鮮學童苦辛之狀躍出如觀其可謂有情有淚之作也

日報歌壇
香山秀雄選

翁草あけ花つけて路の邊にまくびる垂れて咲きゐたるかも
路の邊の端に立ちて見渡せば我がこし道のはるかなるかな　因中
春めぐる岩の肌にうつろうと友は己が名刻みけるかな
山峽の枯草中ゆしたの芽の吞日を浴びてふくれそめけり（北漢山にて）
月落ちぬ香かへ抱きて我魂はそゞろ光に逃はでし
びむ　寺尾寂步
死に角に試驗も終へぬ花咲きぬ春をよろこびわれはうたはむ　廢安つれな
死ぬは花明りなる夕まぐれさめぐ\泣きつゝさすらひにけり　北　星
のどかなる春の心にいとふかく人思ふことを神は救へき

最新刊好評忽十七版　定價七十錢特價送料共金六十五錢
蓄音器文句集　四六版紙數五百頁全一冊美本
義太夫（呂昇、大隅大夫、攝津大夫、美名太夫）あり琵琶歌（永田錦心、筑前、薩摩）浪花節（雲右衞門、奈良丸、小圓、樂燕、樂遊）あり新內は申すに及ばず清元、常盤津より流行小唄、端唄、長唄、都々逸、三曲の名數、明ては俳優の聲色、落語など全國のあらゆる名文を悉く網羅し玄人が素人が遊ばせたレコードに吹込てあるもの一として此の中に漏るゝは無し妙句を選み五万餘頒を求めて而かも振りかなつきにて聞き捨てられぬ名文を一流の名人にて誰にても解り易く特價販賣中今直ぐ御求めあれ
發賣元　大阪西區新町北通一丁目　振替大阪三一八〇四番　岩井萬文堂

京城
朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
支店　東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春、開原、四平街、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村
出張所
右ノ外內外主要ノ地ニ爲替取引先有之候
電話　長三三一、三二一、一〇六、一二六〇、六一三、一六一三、二三六一

最新刊
△柳出先生著◎國判二百餘頁◎正價金壹圓◎送料金拾貳錢
家相人相易占　開運の基礎　全
本書は主として家相、人相、易占の秘訣を以てす凡そ人皆幸運を希はざるなしと雖も古の家相の法に依り或は肉方を犯し或は婚姻、相談事等の爲に種々の災禍に遭遇し志を遂げずして空しく終世不幸なる生涯を送るもの多し
▲平野小潜先生著◎四六新形箱入五百餘頁◎特價金八十錢◎送料金八錢
世の運を欲するの士は一日も缺くべからざる良書なり

最新刊
自警訓話　精神の修養
今や物質的文明の進歩は驚く可き勢をもて日に進み幼稚なる實業の方面に至りても亦空しく其實の存する所を知らざる者頗る多し……
△齋藤靖風先生著◎小形箱入美本約五百頁◎特價金五拾錢◎送料金八錢

最新刊
修養　一日一訓
吾人肉體が飲食によりて營養を攝取するが如く一日一訓によりて常に精神的糧食を得せしめんが爲め古今の英傑東西の賢訓を一日に配し以て三百六十五日に及ぼしたるものは本書也蓋し稀有の珍書たり
發兌　東京市小石川區西小川町二丁目三番地　振替東京一〇五六二　電本局一九七三　合名會社石英堂書店

蘇峰　德富猪一郎著　定價六十錢　郵稅六錢
縮刷　時務一家言
『時務一家言』は著者が思想經綸の大綱を提げ、所謂る其の輪廓を描きたる者にして、內治、外交、社會、經濟、軍事、教育等有らゆる方面の問題に闡著し、從來の各種述作、一として此に胚胎せざるは莫し。世界の變局、之を喩へば、本書は宛も法學醫學書の『六法』や『三世界』の如く、皆其の各論と見るべし。乃ち本書は『大正の青年と帝國の前途』の姉妹篇に對する內篇の如し。故に本書は他の『傳』にも對する如く、其の首尾相連りて本書の精神は『大正政局史論』に對する其首を擊てば尾至り、其尾を擊てば首至り、宛ら常山の蛇の如し。是に於て乎、著者は所說悉く一貫せり。思想經綸の大戰亂に依り、本書は發刊以來、重ね重ねて版を重ぬること十有二。是れ主義主張の所在を徹底せしむるに於て、首尾一貫、以て世界の大勢に應ずるものなり。本書はドイツ、イギリス、アメリカの大勢を知るの事也、蘇峰氏の經世家の眞價を知る能はざるべし。一年ならずして一讀せずんば本書は眞に斯の如く天下の經世家一讀の書なりと云ふべし。
發行所　東京市京橋區日吉町　振替口座東京一三〇〇番　民友社
賣捌所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部
大取次　大阪屋號　日韓書房　嚴松堂　各地支局書肆

支那語自由自在講義
實業成功の舞台は支那なり！！
支那語の必要は英語以上なり！！！
本書獨創の考案になる本講義に依りて練習せば、何人も僅々五ケ月で、自由自在に支那語が話せ、支那新聞が讀め、支那人と交渉することが出來る
申込所　東京市神田區小川町　東亞學會出版部　振替口座東京二五一九六番
東京市本所區西河岸町　東亞學會營業部　電話本局七四一一番、三四三九番
見本進呈

家庭雜誌
▲家庭の旅行方法
▲猫島騷動（童話）……坂西歷史
▲家庭小說　春の訪れ……手塚かね子
▲家庭小說　夕潮……長田幹彥
▲龜島崩れ（傳奇）……高木敏雄
▲健康本位の飲食物……尾崎行雄
▲私が兩親から受けた感化……松村介石
▲子供の惡癖を矯正した實驗
▲婦人職業手引草（婦人記者）……武山春乃子
▲家庭に必要な洗濯の仕方……大江高師教授
▲世帶の持ち方……（社會百生活の收支研究）
五月號　定價一冊二十錢　半年一圓　東京博文館

◎木羽柾板販賣
△屋根葺材料の福音▽
屋根葺材料節約の爲め特に鴨綠江材にて製造したる木羽柾板の販賣を開始致候木羽柾は葺上げ一坪當り一圓十錢見當にて亞鉛板其他に比し經濟的材料に御座候御用命は左記特約店へ御用命を乞ふ
京城　三井物產株式會社　木材部　電話四二六番

特約店
京城、仁川　電話二〇九〇番　大二商會
京城、仁川　電話四二八番　木材商會
京城　電話長七四四番　小森商店
大邱　電話長一六番　杉原材木店
平壤、鎭南浦　電話一六一番　中村組
釜山　電話一六四番　坂田商店材木部

[illegible]

◎露政府に講和慫慂

キエフ市に開ける社會黨會議は政府に向つて國際勞働者代表者を經由し講和商議を開始せん事を注意するの決議を爲したり（露都電報）

◎白國人獨逸を怨む

米國務省は前駐箚白國公使ホイットロック氏の白國人追放問題に關する報告を發表せり曰く獨逸は其冷酷惨忍なる所行に依りて恢復す可からざる怨恨を白國人に買ひ其殘忍なる行爲者たる獨逸兵士さへも落涙を禁じ得ざらしめたる程なり（倫敦電報）

◎新式武器と對抗策

獨逸軍事通信員の西部戰鬪評

丁抹に於て發表されたる伯林來電に依れば獨紙ヴンッシエ、ツアイングの軍事通信員は目下西部戰線に於て行はれつゝある戰鬪を評して曰く今後戰爭は彼我軍用材料の如何によりて其勝敗定まる可き戰鬪なり而英佛軍の使用する彼の所謂鐵道砲なるものは全く新式の秘密的武器にして聯合軍が此の武器及び其他優秀なる軍需品を有する限り我軍の之に對抗す可き戰略はヒンデンブルグ元帥の作戰計畫に俟つの外なし」と（倫敦電報）

◎英軍の攻撃頗る激烈

獨逸俘虜一千に達す

英亞司令部附路透通信員二十三日發表の報道に曰く數日間に亙り開始せる砲擊を加へ戰線に於ては未曾有の激烈なる砲擊を行ひたる後英軍は拂曉サンカンタン、ランス戰線の各地點に連絡的攻擊を行ひたり一般の戰况は我軍に有利なりとの報道あり英軍の手に歸したる俘虜は既に一千名を超ゑたり（倫敦電報）

◎議長役員物色

衆議院議長は政友會より大岡育造元田肇床次竹二郎諸氏の呼聲あるも大勢は大岡氏に決定す可く又副議長には國民黨より關直彦濱田國松神氏の中一名を擧ぐ可しとの說あれども國民黨としては結局關直彦氏を推すの外無かる可く又豫算委員長には河原茂助野田卯太郎井上角五郎三氏の內孰れかに決す可く全院委員長には肥田景之氏選定さるべしと（東京特電）

◎憲國提携如何

六月廿一日より開會せらるべき臨時議會に際し國民黨が第三十八議會同樣憲政會と提携し政府不信任案を提出すべきや否や犬養總理今後の出處態度は大に注目に値すべし（東京特電）

◎全國師團長會議

全國師團長會議第三日は二十五日午前九時より參謀本部に於て開會本部より田中參謀次長以下各局長其他關係者出席議事に就き協議し同十一時一旦休憩午後一時より陸軍省に於て開會大島陸相山田次官以下各局長出席大島陸軍大臣より一場の訓示あり四時過散會せり（東京特電）

◎內債募集略定

政府の內債募集は略ぼ決定したるを以て大阪銀行團の代表者は二十五日[illegible]

聯合全州 ▲全北穀物總會 來[illegible]の爲め[illegible]

[illegible]東京同業[illegible]陸軍並に政府と協議の上確定す可きが確定の上は即日發表す可しと（東京特電）

◎遣米軍艦發期

故駐日米國大使ガスリー氏の遺骸は軍艦吾妻をして護送せしむる事に決したるは既報の如くなるが同艦は愈々來る二十八日午後三時故大使の遺骸を乘せ大使館書記官エー、ゼー、アーネル氏隨行橫濱を拔錨米國に向ふ事に決定せり（東京特電）

◎赤十字救療所增設

日本赤十字社にては過日の支部長會議に於て今回左記の通り滿洲各地救療所增設の事に決定したる旨內務省へ報告ありたるが右は一箇所每に醫員一名看護婦二名を配置する筈なりと（東京特電）

▲齊々哈爾 ▲農安 ▲鄭家屯 ▲雙城堡 ▲哈爾賓 ▲吉林 ▲通化 ▲金州 ▲牛莊連盤

◎交代兵釜山著

滿洲守備交代第七師團長藤井較一中將司令部員步兵第二十六聯隊聯隊長以下千六七百名は廿五日午後惑東丸にて釜山著同五時上陸せり右交代兵は二十八日午前三時、七時及び午後二時釜山發別仕立列車にて任地へ出發すべし（釜山特電）

◎山室大佐北行

今回救世軍の職務以外內務省より戰時救濟事業調査を囑託され英國へ渡航すべき救世軍大佐山室軍平氏は二十五日夜對馬丸にて來釜同十時半滿鮮直通列車にて北行せり（釜山特電）

◎花井博士北行

辯護士花井卓藏博士は二十五日夜釜山著十一時發列車にて京城に向へり（釜山特電）

◎總督咸興視察

二十五日午前三時光濟丸にて元山を發したる長谷川總督一行は同六時半湖津著中咸鏡南道長官小河警務部長等の出迎を受け九時陸路咸興に到着同道長官外二十一名の吏員を接見し終て廳內各課を巡視し十時小學校に赴き校庭に記念植樹を爲し十一時警務部咸興地方法院等を視察し午後一時より第七十四聯隊農學校普通學校慈惠醫院等を巡視せり同夜は宿舍に市長官小河部長岡本法院長外五名を招き晚餐會を催したり尙一行は翌二十六日咸興を出發し途中本宮へ立寄る筈なり（咸興特電）

◎平南蠶業促進

近時平南の蠶業は急速の勢を以つて發展し居れるが此れが指導に關し專任技術員を特設するの必要を感じ今回恩賜授産事の全部を蠶業（並に機業）に充つることゝなりたるを機とし愈々本年度より蠶業技手十六人（內地人）を新に配置するに決し內二人は道に十四人は郡に勤務せしむる事となりたり而して郡勤務者の執るべき事務は蠶業授産者の實地指導、授産に依る補助奬勵事業の指導監督、授産者の需用する種苗蠶具肥料等の供給及び生産物の販賣等に關する斡旋、其他一般蠶業者の指導啓發に關する事項を掌らしめ道勤務者は此の外郡勤務者を統一的指導するにありと云ふ（平壤）

◎鐵道荷動狀况（下）

四月中旬に於ける▲大豆● 內地直通移出は院に輸送力不足に基因する發送制限の爲め荷動閑散にて僅々六百四十六噸に過ぎざるも釜山打切り扱は前旬に引續き盛况を呈し千六百五十五噸を出荷せり▲鹽● 味噌醬油釀造用の需要最盛期を遠ざかるに從ひ荷動漸次減退し本旬に於ては頓に不况を呈し前旬に比し千四噸を激減せり發送の主なるものは仁川發再製鹽の千三百五十一噸にして次は鎭南浦發官鹽の四百六十噸とし群山發二百十三噸釜山發百十八噸等之に次ぐ▲鑛石● 荷動好况にして一日平均百五十五噸を出荷せり而して前年に比し千百十五噸の激減を示せるも道は前年同期は新安州に停滯し居れる价川鑛石が一時に發送されし爲め出荷數頗る多數なりしに因る現象なり▲雜穀● 本品の出荷は益々好况にて逐旬增加を示し居れり就中黃海道管內黃州、興水、沙里院驛發の小麥粟、小豆の荷動依然殷盛なり滿洲粟の輸入も頗る活况を呈し四平街昌圖、遼陽、湯城等より南大門、元山、群山に回著せるもの計五百四十噸に達し前旬に比し約百噸を增加せり▲苗木● 苗木類植付期なれば出荷衰へず前旬に比し大差なく四百六十五噸を出荷せり主なる發驛は永登浦、南大門、平壤、大田等とす要之本旬の貨物運輸は前旬を以て絕頂とし木材、鹽等一、二貨物に於て減退を見たるものありと雖も其他の貨物にありては石炭、米、大豆等依然として出荷旺盛にして更に之を前年同旬に比較する時は鑛石を除きては各品總ねて著しき增加を示し收入に於ては四割九分を增收し豫期以上の成績を擧ぐるを得たりと

◎輕鐵本社移轉

朝鮮輕便鐵道株式會社が大正七年三月までに竣成せしむる豫定にて起工したる同社の第一期工事即ち大邱より浦項に至る輕便鐵道線路の中大邱より河陽間約十五哩は今や全く其の用地の買收を終ると共に工事も日々非常なる進捗を示し居れり然るに同社は大正五年四月三十日に創立以來今日に至るまで釜山に本社を置き大邱に假出張所を設けて事業を經營し居たるが斯くては業務の進展に伴ひ監督上の不便はいふまでもなく對官廳の手續上時間と勞力且つは經費を徒らにするの不利と不便を感ずる事尠からざるより遂に本社を大邱に移轉せしむべく來る三十日同社長牟田口元學氏東京に於て臨時總會を開き決議の上實行することに決定したりといふ其の豫定地としては大邱驛構內に敷地約四千坪を選び建物の急設を圖り總會後二週間內に移轉する筈（大邱）

◎鮮銀總裁訓示

支店長會議に於て（中）

▲朝鮮經濟と鮮銀 朝鮮に於ける當行の營業に付ては從來の方針を追ふことは勿論なり小職就任日淺く朝鮮の經濟事情を悉すこと能はずと雖も想ふに近者朝鮮在住者並內地人間に於て朝鮮內に各種産業の計畫あるを耳にするは大に喜ぶ所にして要するに朝鮮の方針に從つて輸出入貿易に輸移出貿易に使することを圖るは勿論必要の場合には是等新興の事業に向つて積極的の援助を辭せざるの覺悟なり而して是の如き圖を爲さんには勿論廣く世界商工界の大勢に注意し詳に衡量參酌して其の施措を誤らざらんことを要す幹部諸君に向つて特に此の注意を要望す又普通銀行に對しては從來同樣營業の許す限り援助を與へ其の成立及發展を助長し成るべく中央銀行本然の時期に達することを期し其の方針として當行が國家經濟に貢するの最も有效なる方法なりと信ずるものなり

▲滿洲營業の注意 滿洲に於ける各店が其の創設日淺きに拘らず業務の發展頗る著なるものあるは小職の最も喜ぶ所にして特に辟遠の地に於て風雪と戰て業務に精勵せらるゝは小職の親しく實見して深く感謝する所なり然るに滿洲の經濟狀態は其の特に大陸的にして且商習慣を異にし又幣制の甚だ錯雜なる等の點に於て各般の事情未知數に屬するもの少からず今後益々諸君の慎重講究を要する所以なり特に戰後の經濟關係に至ては容易に測知し難きものあり少くとも銀市場の變動輸出入關係各商品の相場の變動等に於て極めて重大なるものあるべきは今より覺悟せざるべからず

▲內地營業の注意 日本內地に支店出張所を設けたるは一に資金操縱上の必要に出で又一は鮮滿各支店と相呼應して其の業務を幇助するの目的に出でたり左れば內地諸店に於ては常に鮮滿市場との聯絡を保ち且外國市場との關係に留意し廣く各店の補助機關たるの覺悟あらんことを希望す

諸君は常に積極的活動を方針とせらると同時に平素最も細心の注意を怠らざらんことを望む

◎鮮銀店長會議（第一日）

朝鮮銀行にては既報の如く二十五日午前十時より同行會議室に於て支店長會議を開催せり本行側よりは美濃部總裁以下三島大田兩理事各課長其の他主要行員出席し總裁の訓示演說あり所長は勿論、各地支店、出張所長の狀況報告に移り、報告を了りて午後五時散會したり當日は鮮內各支店長の報告を了へたる

◎畜牛品評會狀況

全北西部三郡聯合畜牛品評會は客月中旬井邑郡に開催せるが井邑郡扶安郡よりの出品畜牛總數一千八百五十頭に及び郡每に豫備審查を行ひ總畜牛中より百頭を選拔出陳し比較審查の上一等二點、二等六點、三等十五點、四等七十七點を授賞せりと、因に今回の出品は前回に比し一般に品質良好にして飼養管理亦進步の跡あるも尙後軀の發育不十分皮膚の脫毛せるもの多きを遺憾とす此の經費百三十一圓にして天候不良なりしにも不拘出品部よりの參觀者多く二千百七十八人一等授賞牛二頭は道に於て優良牛として表彰せられたりと

◎蠶種製造講習

京畿道に於ては管下蠶種製造人六十餘名を集め京畿道原蠶種製造所に於て短期講習開催中なりしが今回修了式を擧行し修了者には其々道長官より證書の授與ありたり

◎大田軍人會總會

大田郡在郷軍人會分會總會は本月中旬開會の筈なりしも理事不在の爲め延期中の處本月下旬若しくは來月初旬開會決算報告役員改選を執行すと（大田）

支那遍歷

西湖の春（二）

中島生

旅籠に入りて、未だ茶も喫らず、空腹を抱へつゝも、我が心は既に湖上に在り。匆々に午食を濟ませ、直ちに小舟を艤はせ、湖水に泛ぶ。今日の半日と、明日の半日とは、適れ湖畔詩人の氣持ちにて悠々自適するを得るかと思へば、我が心樂し。乍併此の俄か造りの詩人、全く詩作を知らず、されば西湖に對しては、誠に以て氣の毒千萬也。聞くが如くんば、支那に於て西湖の名を以て世に著るゝもの、都て三十一、而して浙江省に屬するもの六を數ふと謂ふ。就中此の杭州の西湖を以て最有名となす。唐以前に在りては寂然として聞ゆる所無かりしが、唐時李泌なる者湖流を疏通し、白居易及び宋の蘇軾杭に守たりし際、二長堤を築きしより、騷人墨客、高僧名妓の湖畔に跡を留むる者多く、近世には清の聖祖高宗屢々此處に巡幸し、西湖の名大に著はるゝに至れり。西湖を錢塘湖と稱し、或は又明聖湖、金牛湖、石涵湖、高士湖、其他の異名あれど、其杭城の西に在るが故に西湖と通稱す。湖水の周圍は支那里數の三十里と聞へば、日本里數で約三五里也。三面は山を以て環らされ、湖中に孤山有りて獨り水心に峙ち、孤山の前廣き處を外湖と爲し、山後を後湖とし、西部の蘇堤內を裏湖と別てり。扁舟一葉輕く棹して、漣波漾々たる湖面に泛ぶの時、身は宛ら唐宋の昔に在るが如く、姑らく現代を忘るゝ。白堤を左に陸岸を右に見て孤山の後を過ぐ。白堤は陸岸と孤山とを連ね。白樂天が『孤山寺北賈亭西』…『綠楊陰裏白沙堤』と賦せしは此の堤にして蓋し白堤湖中に在り、芳草綠なるの時之を望めば裙腰の如くなるを謂ふ也。裏面より孤山を半周して煙浪微茫たる外湖の中心に出で、更に蘇堤より裏湖に入る。此堤は宋の元祐年代に蘇軾の築く所、南は南屛山より北は岳廟まで其長さ一里に亙り、湖面を隔斷す。堤上路あり、路を挾んで柳を栽ゆ、柳色煙の如く、湖水空濛たり。堤中六橋あり、橋下小舟を通す。蘇軾に詩あり『六橋橫絕天漢上。北山始與南屛通。忽驚二十五萬丈。老葑席卷蒼煙空』。彼れ自ら築く所の長堤を賦する、聊か自讚自賛の嫌なきに非ずと雖も、此の堤塘を以て、大に西湖の風致を增加せしめたる事は、彼れに向つて多謝せずんばあらざる也。

人事消息

▲小川平吉氏（代議士）廿五日夜入京巴城館へ ▲金井潤氏（鐵道院監督局參事）二十五日夜家族同伴入京朝尾旅館へ ▲細島豐次氏（朝鮮銀行仁川支店長）二十四日入京朝尾旅館へ ▲小諸元司氏（久原鑛業會社鎭南浦精錬所長）二十五日夜入京山本旅館へ ▲藤田正一氏（鑛業家）二十五日夜出京 ▲石川昭碩氏（滿洲醫亞醫院長）二十五日夜入京不知火旅館へ ▲白井本城氏（辯護士）二十五日入京即日退京

南言北語

何時も共うだが總選擧の後では種々の珍談が飛び出す今度も大分競爭が激烈であつたから從つて面白いのも多い▲若松市は定員一人だのに候補が四名あつた其の內で柴四郎君と白井新太郎君との政戰は最も猛烈なを極め▲柴君は前の參政官と云ふ肩書及び前大臣連の應援演說などあり白井君は金をドシドシ使ふので非常に景氣がよかつた▲其間板挾になつて窮し遂に倒れた國民黨の渡邊鼎君に面白い話がある▲反對派の某策士が貧乏な渡邊君をいぢめる積りで一金三十圓也の債權證書を引つ張り出し▲執達吏を差し向けて其の事務所の差し押へをやつた▲處が何に一とつ差し押へる物がないのを見て渡邊君は懷中時計を取り出し▲これでも押へて行きなへと差し出すと執達吏は大に同情して其儘留つたが▲此の先生翌日から忽ち萬事自辨で渡邊君の爲に大運動をやつた相な▲東京で落選した怪原惟郭君一念發起して勞働神聖救官所の爲め日蓮もどきに辻演說をやつて步く事にし▲馬車とも荷馬車ともつかぬ乘物を新調しかゝつて居ると氣が早い▲熊本縣郡部から第六位に當選の岩佐善太郎君は『猫』と云ふ綽名がある▲まさか彼の漱石の我輩は猫であるの主人公なぞと早合點すべからず▲其の處岩佐君の耳は奇妙奇的烈な猫耳で嬉しい時の表情には殊に運動が激しいとの事之れも議會の名物となるのだろう▲岡山市から出た國民黨の有森新吉君は中學校の校長さんで『野毛の山からノーエ』の踊りが天下一品素的滅法界に妙手だ相だ猫先生と併せて之れも名物となるのだらうとの事

○大塊翁の當選を祝す　鳥兎

花の咲くに映れて御ん坊の大なる

○　靜都

巨人出でて花の筵のあでやかに

○　目池

春霞氣勢ゆたかに見ゆ

商業登記公告

登記 株式會社漢湖農工銀行第五回社債ノ總額金五拾萬圓、各社債ノ金額金貳拾圓、社債ノ利率年五分、社債償還ノ方法及期限大正六年七月拾六日ヨリ參箇年据置キ同九年七月拾六日ヨリ每年二回以上拾七箇年間ニ抽籤ヲ以テ償還スルモノトス、各社債ニ付拂込ミタル金額金貳拾圓

右大正六年四月貳拾日登記

京城地方法院 開城支廳

不思議の術

此の不思議の術は一名活動手品と云つて理學的に最もたやすく色々な物品を活動させる非常に面白い術であります早く買つて行つて御覽なさい種一組二十八錢

東京神田錦町三ノ八 發賣元 東京小包社

亞鉛、銀、鉛、銅、鐵鑛

鑛區買入（許可鑛區 先願權）

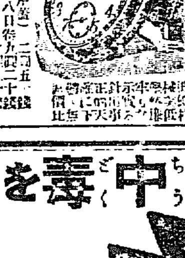
融通 鑛物買入

經營資金 京城明治町一丁目七番地

正巳鑛業所 電話（マ）ヌは（マサミ）一五九

新荷著

懷中時計 アンクル式



（ニッケル側）十八形（片蓋）二圓五十錢 同 八日卷 九圓二十錢 同 十六形 [illegible] 同 ラジューム入 [illegible] 同（銀側）ラジューム入十六形（片蓋）[illegible] 同 十七形 [illegible] 同 鑄付 [illegible] 同 彫刻各色十二形（片蓋）[illegible] 金張（十年保險）十七形（兩蓋）[illegible] 同（十年保險）十八形 [illegible] 同（金側）[illegible] 金十八形 [illegible] 同 三百八十圓 [illegible] 流行腕卷時計 十三形 ラジューム入 [illegible] 同（鐵側）[illegible] 同（銀側）[illegible]

右は今回新著の商品にて本品は何れも無き品の保證付きに付き地方の御注文に應じ小包郵便にて御送付致し候急ぎの御注文には代金引換にても御取扱致し候其他時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商

イングレッシー商會

本店 京城本町二丁目 電話九七二番

酒・煙草の中毒を豫防する

衛生口錠

其他呼吸より感染の惡疫を豫防するが故に入込中欠く可らざる

護身藥

◎ヒスイ色まが玉形卅五錢 ◎自働バネ付鞄形廿五錢 ◎美術鏡付弗入形卅八錢 ◎拾錠箱入廿錢五十錢一圓

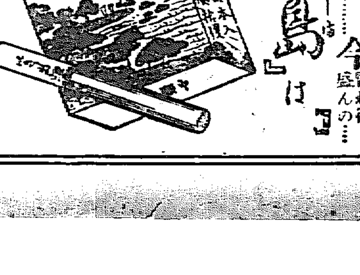
東京本舖 安藤井筒堂

大阪四代理店 藤森源之助

東京全部 大阪府を中心として

誰れも彼れも到る所で……今賣れ行き盛んの……

煙草代用『輝島』は全國の煙草店にあります



（見本は郵券十二錢）

東京本所二の橋角 煙草代用『輝島』專賣所

關西總代理店 大阪市東區久寶寺町四心齋橋筋 電話本局三三六八六 振替東京三一五三九

大阪神戸、京都名古屋横濱、鹿兒島、小石川、大連に出張所

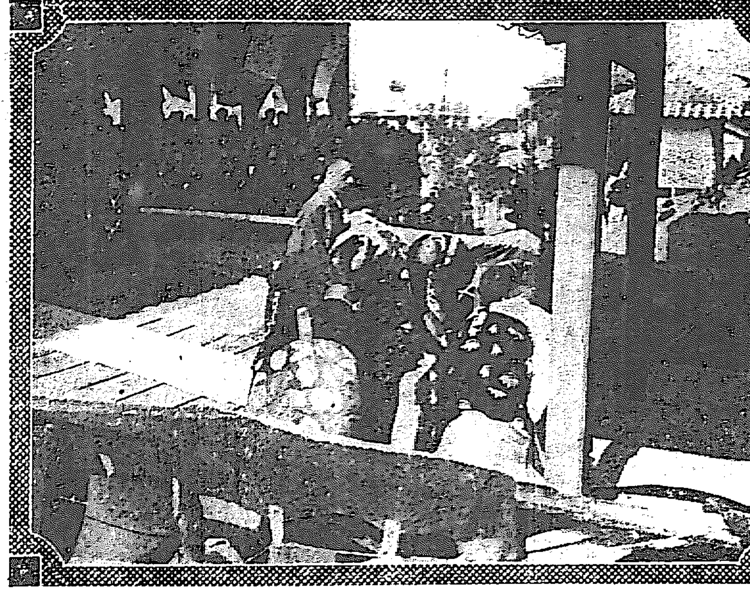
[illegible]に重役改選に關する件をも附議する由▲全州武術殿建設　萱野全州警察署長の主唱に係る武術殿は官民有志[illegible]置なかりき若葉薫る今日此頃の陽氣に連れ全州官民の組織に成る全州倶樂部にては去る二十二日の日曜を卜し[illegible]州農工銀行にては各支店長の入京を機とし同銀行倶樂部員一同は德津神[illegible]の興まりたる乾北山の麓にて運動會[illegible]近會の乘車に便にし[illegible]銀●金融組合●農銀と金融組合との金融關係上殘て金融組合の所在地[illegible]電燈會社●過般設立の認可を受けたる來株式募集中の處應募額を超過するの盛況を呈し既に諸準備を了へ

■公州■▲道長官視察●土木主　忠南道長官は鄭參與官山本土木主任を隨へ忠南第一の險峻の稱ある青[illegible]櫻花は爛漫として咲き亂れ暑からず寒からず實に山遊の好時機の事とて各種團體の野宴盛なるが二十日は上[illegible]なるが二十一日土曜日を機とし午後より會員の觀櫻會ありたるが各種の運動競爭等の催もあり中々の盛會

宮殿に映ゆる御法の灯

南山本願寺大遠忌法要第一日

有縁の人感泣す＝納骨堂供養會親修



◇遠忌法要初逮夜親修＝南山本願寺納骨堂供養會＝

二十五日から三日間に亙る宗祖上人御遠忌法要親修のため猊下の法主を迎へたる南山本願寺は當日早朝から境內本堂の內外を淨めて本堂の周圍には

◎紅白の幕を張り　法主の通路に當る玄關又は廊裡より本堂に到る內椽の中央に白布を敷き信徒中の各係が東奔西走して準備を整へるところへ正午過ぎ總督府訪問を終へて法主が來られる、かくて午後一時から大遠忌法要第一日の勤行なる初逮夜は開始された、本堂には詰めとなつて

◎一千餘の信徒は　咳一つせずに待ち設けてゐた、本堂奥なる正面を見れば金色燦然たる宮殿の裡には宗祖上人の尊像嚴かに安從され宮殿前には緑濃き華瓶花の一對左右に立てられ同じ場所に据られた五具束の飾り物と共に崇嚴を極め燈なとして宮殿の前に映ゆる御法の灯の輝きは

◎佛陀の彌尊さを　囁くかのごとく搖れ〳〵てゐた、淨紫の衣著けた法主は宮殿の前約三間の所に設けられた登高座に就くを待つてその左右には大幸京城別院、松林木浦、溪內元山、各輪番、照岡大郎布教所開教使正座しその他京城別院在京傳地方在勤僧侶人等一同著席、先つ伶人の

◎奏する古雅な樂　に始まつて御陀登高座より淨土三部經上卷の諷經ありて法要を終り、更に法主は立つて本堂を降りて本堂脇の骨堂で追弔供養を勤め三時頃終つたが骨堂前で法主讀經の際は多くの有縁の人達の間には感極まつて忍びやかに啜り泣きする人さへあつた

▲廿六日の庭儀式　二十六日午後一時より南山本願寺におけるゝ庭儀式には稚兒五十餘名の御練りあるべく稚兒を出せる主なる信徒は三好和三郎、廣江かと、三田政治郎、村上天眞、瀧川靜子その他の諸氏なりと

▲中學校の講演　二十六日午前八時半より同職員中學生のために京城中學校に於いて南條村上兩博士の講演あるべし

◎選擧運動員　鐵道自殺を遂ぐ　三重縣に於て今回の選擧に落選せし加賀宇之吉氏の參謀長龜山町參野半次郎は選擧違反を苦にし鐵道自殺を遂げたり（大阪特電）

◎延略寺の銅板　盗賊捕はる　比叡山延略寺大講堂の百貫に餘る銅板を悉く盗み去りたる盗賊愛媛縣生れ笠井萬吉（三）は大津に於て捕縛されたり（大阪特電）

◎官舍を荒して豪遊す　熊本縣鹿本郡小城村生れ京城本町五丁目居住今田甫住（三）は二月二十三日夜大和町二丁目某高等官方の板塀を乘り越えて侵入し現金二十二圓

◇南山天滿宮　大祭の賑ひ　京城神社攝社南山天滿宮にては二十五日神殿拜殿新築後の第一回の大祭を折りから咲き盛りたる山櫻の中に於ていと

◇厳かに　も又華やかに執行せられたり此日午前十時半より谷村齋主は齋員伶人其他氏子總代一同を率ゐて著席し修祓式あり谷村齋主は伶人の奏樂中に御扉を開き神酒十臺以下の神饌を傳供し齋主祝詞を奏し齋主以下參列員一同玉串を献じて式を終りたるが數日來氏子中の面々が

◇準備を　凝し居たる事とて場內は幟大小提灯華賑やかに樹て連ね參拜人は押分けの盛られぬ程に繰込みたるが午後一時より拜殿に於て南山町京城觀世會、松尚會有志者の奉納仕舞及び都山流尺八師匠佐藤都合氏の三曲合奏者の曲等あり又記念碑下の

◇餘興　にては中券藝妓連中の奉納手踊り京城有志連中の博多仁輪加名町有志の素人角力等あり猶朝來の煙火は夜に入りて益々賑はしく京城電氣會社にてはアーク燈を點じ夜に入りても參拜人の雜踏甚だしかりき

◎猛虎を射止む　全南寶城郡鳥城院居住戸倉鶴熊（三九）は去る十五日午後一時頃猟に虎の出沒せりと噂ある同郡文德面桃杏城山に單身獵銃を肩に登山せしが同日午後四時頃山中にて一頭の大虎に出逢ひたれば直ちに實彈を籠めて四發迄打つて放ちたるも內二發命中せしのみにて虎は非常に荒れ狂ひ同人に飛掛りたれば戸倉は漸く逃れ更に翌二十六日早朝より昨日の虎を求め捜す內午後一時頃溪谷にて水を呑める手負虎を發見したれば立續けに八發を放ち遂に見事射止めたるが體量約四十貫に及び肉は直ちに附近里民に別け與へ皮は目下保存中價格三百圓と稱し居れり

◎大阪の有鼠園　二十五日大阪に於て有鼠園を發見せり（大阪特電）

◎實子殺しの嫌疑　群山盛町二十七番地內田繁八（四七）の長女初野（二〇）は曩に何者の胤とも知れぬ一子を擧げ幸太郎と命名して同町飲食店白鷗女方の養子として遣はしゐたるに何故か本月二十日午前八時頃急然死亡したるより死因に疑ひあり二十二日午後二時群山支廳の千賀檢事は鶴田書記と共に醫師を從へて內田方の檢證をなすと共に父繁八及び娘初野は共に殺人嫌疑者として檢擧され目下取調べ中（群山）

◎木曜日も開館　花盛りの御苑　昌德宮御苑は毎週木曜日は觀覽を休止し居たるが目下苑內の櫻花爛漫と咲き盛り居るを以て此の際一日の休止は幾千觀覽人の遺憾とする處なるを以て今週に限り木曜日にも一般の觀覽を許すとの事なり

◇南山天滿宮大祭（上）山縣政務總監揮毫の奉納額（下）寄進の素人相撲

◎變裝して支那人大賊を捕ふ　昨年來平北義州の重なる內地人宅を荒し廻る曲者あり昨秋宇佐病院にて金側懷中時計（二百五十圓）を竊取されし以來其後盜難被害頻發し四月に入り北方木材店にても同樣金側懷中時計（二百七十圓）又鮮銀出張所長中西氏方にても二百五十圓の金側懷中時計一個竊取せり犯人は同一人にして支那人らしき形跡あり新義州警察署にては嶋野署長部下を指揮し變裝して極力犯人嚴探中二十一日午後十時頃件の犯人が市中徘徊中を市條巡査が搭鬪して取押へ引致取調べの結果支那山東省登州府生れの姚允享（三）といひ悉く罪狀を自白するに至り竊取の時計等は殆ど賣却し遊興消費したる旨申立てしが餘罪ある見込みにて引續き取調べ中

◎誘致して強奪　忠北陰城郡生れの金明順（二〇）は三月二十四日京畿陽智郡[illegible]里鄭武成の姪鄭子となり貧者の金五圓餘を横領逃走し四月十一日京城光熙町一丁目[illegible]生れの[illegible]を[illegible]に誘致し所持金三圓六十錢を強奪逃走したるも此の程本町警察署の手に捕はれ取調べの上檢事局へ送らる

◎京城神社の招魂祭　來る三十日京城神社にては例年の如く招魂祭を執行す祭典順序左の如し▲午前十時[illegible]右終つて文武官、官公署職員及び商業會議所議員、殉職者遺族、日本赤十字社員、愛國婦人會員及び京城婦人會員、憲兵隊、在鄉軍人會、同上代表者、警察官、軍人會員は同上代表者、官公私立學校生徒總員一同の拜禮あり次に之れを以て式を終り祠前に神酒を供し一同退散の順序なり

◎水源地の樹を伐る　全南光州郡漢面雲林里鄭淳甲（二三）及び西倉居住李興九の兩人は無等山水源地に在る樹木を伐採したる事判明したれば何れも光州署に逮捕せられ取調中なるが其伐採の原因は彼等の土地が附近に在りて何れも樹木植付けられ居れるも今回水源地となれば植木か枯死するものと思ひ込み夫れよりも先に之を賣り置かば良からんと思ひなる考へより採伐したるものにて光州署に於ては附近の里民に對して今後絶對に採伐せざる樣嚴論したり

◎頭から縫針が出る　京城本町警察署の某巡査は約二箇月前自宅でフト仰向きに寢轉んだ際家人の始末が惡るかつたためか縫針が後頭部に刺通り三つに折れて二個は其場にあつたが一個は頭に折込むだものらしいが直に附近の醫師に診察して貰つたが一向に分らなかつた其儘二箇月許り經つて二十四日の午後警察署で勤務中思はず後頭部を撫で廻した際何やら手先に掛つたものがあつたので針だと感付いて早速警察醫に引き拔いて貰つたが長さ約六分許りあつたさうな

◎飛乘つて氣絶　二十四日午後八時二十分頃京城電氣株式會社の百七號電車が東大門より龍山に向け進行中大廟停留場附近にて玉川洞金俊植長男私立培材學堂生徒金斗圓（一五）が飛乘らんとして大地に打倒れ人事不省に陷りたる騒ぎに附近の醫院へ擔ぎ込み注射二回をなしたる爲め蘇生し目下自宅にて療養中

□苦力（三）

その成功者

試みに南滿洲の玄關大連埠頭の棧橋に立て、一棟五萬噸を容るべき廣き豆粕の大倉庫の傍に佇む、

□營々として　夥多の苦力が働らいて居る、彼等は一個四十四斤の圓い豆粕を平氣で四ツも肩にのせて行く、エンヤラサ〳〵!!で屈托しない、恐るべきは苦力の腕の力である、驚嘆すべき筋肉の美事さである

□大連の苦力　は萬を以て算へる、彼は獨り埠頭稼ぎのみならず土工に働らき運搬輸送に稼ぎ滿身の金剛力を揮つて總ての勞働に從事する、驚嘆すべきは苦力の強き腕力である、大連の苦力はまた大連市役方の碧山莊に大部隊が控へて居る此處にはざつと一萬人の苦力が居て先づ

□苦力の模範　とも稱すべき連中が住うて居る、碧山莊は大連の實業家相生由太郎氏の苦力收容所の名稱である相生氏は人も知る如く大連に於ける成功者の第一人者、日露戰爭後の大連に渡つて一擧苦力の頭目となつた、家は堂々たる煉瓦建造の平屋建、新相生町の傾斜面を二分して鳥渡日本の兵營ほどある、曾て青島の攻圍軍には此の相生

□苦力師團に　動員令一下すると共に數千の苦力は立所に海を越えて山東の輕鐵を完成した、視察團が大連を視た時多くの苦力は盛んに相生町の丘からトロックに乘つて新埠頭の土石運びに稼いで居つた、其の他煉瓦工場、石炭積込み、石山の石割り、貨物

苦力の妻

□運搬事業等　一として此の相生苦力師團の出動にまたぬものはない、偉い哉苦力の力!!滿洲は苦力の力によつて動きつゝある（大連にて視察團中の[illegible]生）

◎濡衣から投身　平南順川郡鳳鳴面金錫鉀（二四）は内氣の娘なりしが去る十五日同面居住の元甫益といふが強か酒に泥醉し金の家に來り同人の母親に向つて錫鉀は此頃邑外東面なる尹用國と呼ぶ若者と怪しい仲になつてゐると有りもせぬ事を冗談に云ひたるより娘心の前先に對して申譯なしと世の中を悲觀し去十六日午後九時程遠からぬ大同江に身を投げ溺死せりと

◎三洋畫家入京　洋畫家中川八郎、中澤弘光、加藤靜兒の三氏は寫生旅行の爲め渡鮮し廿三日夜入京忠信洞十番地高木背水氏宅に滯在中

本椿香油の大名譽

登錄商標

實業博覽會に於て數多き髮油の內獨り我本椿香油のみ

金牌の榮譽を荷へり

如何に本椿香油は他の髮油より勝れるかを知られよ

故に襲きに

宮妃殿下及宮內省御内儀御用の光榮を拜し華族貴顯方は勿論上流社會に於て盛に愛用せられつゝあり

◎注意　頭上桶なきは僞物なり

定價　廿錢、卅錢、六十錢、一圓

大阪　[illegible]

◎釜山公立幼稚園の雛祭　釜山公立幼稚園にては廿三日が恰かも舊暦の桃節句なる三月三日に相當せるより同園樓上にて雛祭を行ひ午後十時私立幼稚園の園兒を招待したるが午後隣接内の私立幼稚園の兒童は之れを玄關に出迎へ二たれば公立幼稚園兒童は先生に導かれて來園し雛祭の式場に案内しお煎餅の御馳走に主客揃もして打寄りて十一時散會したるが斯かる無邪氣なる可愛き會合は實に珍しき事なり（釜山）

特長

■齒を強く美くし。

■口中を清潔にし。

■防腐殺菌力強大也

化學的純良なる

ツバメ齒磨（はみがき）

大阪　東京　丹平商會發賣

▲各種萬年筆修繕▼

振替口座京城三〇〇番　京城日報代理部

新田帶[illegible]

朝鮮總代理店　京城本町四丁目　白神洋行

京城南大門外　白神洋行支店

定價表申込次第送呈

京日案内

普通　一回前金　五十錢　番外一回前金（[illegible]）

▲[illegible]▲御照會の節は[illegible]

◎店員入用　十七八歳より卅歳迄　要保證人　履歴書携帶本人來談あれ　京城本町二丁目　[illegible]旅館　22

◎看護婦見習入用　希望の方は履歴書携帶本人來談あれ　京城旭町二丁目　[illegible]院　20

◎[illegible]　[illegible]　13

◎商業學校卒業以上志望の方は[illegible]　京城本町三丁目[illegible]　12

◎金融[illegible]　995

◎[illegible]　京城黄金町二丁目角　イバラキ商店　797

◎[illegible]　京城明治町中央[illegible]　985

番外

裁縫の心得ある廿歳前後の男女子數名入用（但ミシン經方傳授す）京城旭町一丁目　コドモヤ洋服店　23

見習看護婦募集　希望者は履歴書携帶本人來談　京城本町一丁目　石川醫院　994

◎礦物定量分析　太平町二丁目　電話長三三四四　新公論社横小路　坂元分析所　960

年金恩給退職料即時立替　京城吉野町一丁目　俵屋　714

自働車　京城[illegible]　京城[illegible]西村商會　761

恩給年金立替　[illegible]　西村商會　905

幸田豊君に告ぐ　直ぐ通信せよ　京城　志岐組　956

分析見習　高等小學校卒業して年齡十五六歳のもの希望者は履歴書携帶本人來談　京城旭町一丁目　三女[illegible]事務所　21

石材販賣　岡石材販賣所　永樂町二ノ五　24

店員募集　十六七歳の日本人を求む　京城本町二丁目　巖松堂書店　25

敬啓本日母工藤光子葬送の際は御會葬を辱ふし感激の至に不堪候不取敢以紙上御禮申上候　恐惶頓首

大正六年四月廿五日

工藤武城

工藤忠輔

工藤重雄

怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

百四十六

葉櫻の蔭（二十八）の七

癒つたとは云つても、まだ幾分右の腕の不自由を感じつゝある幸三郎は、塚本に突きのめされた途端、一溜りもなく後方へよろけて、展望楼の上にばツたりと倒れた。

『腕力に訴へるとは不都合ぢやないか。貴様は、僕に何の怨みがあるのか。』

幸三郎は、猛烈火の如く怒つた。起き上りざま、塚本に武者振付いたのである。

『弱虫の癖に、生意氣を吐すな。』と塚本は、手に持合はした竹箒を振りかざりて、盲打に幸三郎の肩と云はず頭と云はず打据ゑにかゝつた。

幸三郎は、敵はぬながらも立ち挑つた。果は双方大童に引組み合つて花見臺の柱もひし折るゝばかりに揉み合つたのであるが、廣い邸内の、而も宵闇の崖外れと來て居るので、誰一人それと氣付いて仲裁に來る者もなかつたのである。

所詮は、力の強い壯健な方が勝つに極つて居る。蒲柳の幸三郎と、頑丈作りの勞働に馴れた塚本とでは、到底互角の喧嘩も手となるべき筈はないのである。勢ひに乘じた塚本は及ばぬ戀の嫉しさに驅られて、思ふさま幸三郎を床に組み敷き、餘る力に幸三郎の咽喉笛を抑へて、ぎゆう／＼と云ふ目に遭はせた。幸三郎も早く兜を脱いで閉口すれば好かつたのであるが、力は弱くとも意地は塚本以上である。飽まで内股を蹴接いて、塚本を刎ね返さうと努めた。する内に、數十日來雨風に吹き晒され放しの花見臺の一角が、みり／＼と凄じき響きを發して、崖を眼下しの椿竹の欄杆が、脆くもその何方かの力で拔け落ちたのであつた。二人は、それさへも氣付かぬほどに夢中であつた。

『ヘボ畫工奴、弱虫野郎奴。是でもまだ降參為ぬのか。』

塚本は、最後の罵倒を浴びせて……實は自分それ自身も殆んど力が盡きかけて來たのであらうが……幾分か腕を絞めて、下なる幸三郎を突き放すと同時に、片足を擧げて彼が脾腹の邊りを倶の如く蹴ツ飛ばした。

幸三郎は、痛ツと叫んで、何事をも知らず欄杆の方へ轉げかゝると、南無三！赤土を眞ツ竪に切崩したやうな崖の角から、彼の身體は、筋斗打つて眞倒まに投げ出されて了つた。

崖の高さは三丈餘りであつた。深山幽谷の絶壁とは違つて、勿論左して險しいほどのものではないが、四邊は只眞暗闇であつた。而もその崖下の地面は、彼の淨玄寺の墓所につゞいた藪蟠みなのである。

けれども塚本は、流石に恐駭した。自分の仕出來した事には違ひないが咄嗟に崖下まで投げ落さうとまでは思はなかつたので、慌だしく表門側の自動車の置場へ逃げ込んだぎり息を潜めて了つた。

所謂新奥様の袖子は、素よりこんな格闘騒ぎのあつた事は知らない。又、夢にも知るべき筈もなかつたのである。どうせ、普通人と違つて、頭腦の變つた青年畫家の事であるから、心ゆくまで考へるべき事を考へ盡くしたら、乾度母家へ引返して來るだらうと思つて、可なり長い時間をそれなりに打捨てゝ置いたが、日は疾の昔暮れて了つて、平素ならばもう仕事を取片付けて矢來へ立ち歸るべき時刻さへ過ぎて居るのに、以上過ぎても花見臺から引返して來ぬので、只何となく氣に懸り出したのであつた。

『島や、倉橋さんは什うなすつたんでせうね。お前、氣の毒ですけれども、お花見臺の邊まで行つて見て來て下さいね。』

『ほんに然う仰有れば、彼のお方の影が日暮れ前から居間にも御縁先にもお見掛け致しませんで御座いますね。何かお氣に召さない事でもあつて、無斷に歸つてお了ひ遊ばしたんでは御座いますまいか。』

『いゝえ、そんな事は屹度ありません。兎に角お前一人で淋しいやうなら、妾もお交際を為ませう。さあ、提灯を此方へ廻はしてお呉れ。』

袖子は、自分から先に立つて、女中のお島を引連れながら、例の崖上の花見臺まで辿り來たのであるが、頓てそれらしい影も見當らないので神經質の彼の女は、故に漸く疑心暗鬼を生じ始めた。

『若しか爲たらば、先刻妾から言ひ出した話を變に邪推ひでも爲て、腹を立つて逃げ出したのではあるまいか知ら……？』

人蔘キヤラメルを　氣候の變り目に　御愛用あれ

寫眞大割引　京城旭町一　河原寫眞舘　電二九八一

東京製　五月幟　サクラヤ　京城本町一丁目　外幟、座敷幟　二圓半位乃至十四円位迄各種

◇生きた水雷

—頭腦もあれば耳もある—

米國ピッツバーグのアカデミー、オフ、サイエンスに於て去二月九日夜驚くべき發明が公にされた。發明はシカゴのツキツド博士で該發明は米國政府に依つて買上げられた、其れは『生きた水雷』で頭腦もあれば耳もあると云ふ最も恐る可きものである此水雷は四十餘哩の航走力を有しそして途中敵艦艇の近づきくる音響を其耳に依つて聞き分け其頭腦に依つて自ら適宜の場所を選定し自らそこに錨を下し愈々敵艦艇の來るに及んで轟爆するものであり諸まり

◇危險な脱脂綿◇

＝水に浸すと善惡が判る＝

▲脱脂綿は單に外科施術用ばかりでなく一般家庭の間にも却々廣く用ひられるやうになりましたが脱脂綿の製造法は普通の綿をカルキで晒して脂肪を拔き其の後をよく濯いで無害にしておくのです

▲斯の種の脱脂綿は日本藥局方精製綿として藥種店で賣つて居ります然るに近頃荒物屋さか小間物店でも美人綿とかおひめ綿とか雅びた名を付けて賣て居りますが往々粗製の有害なものがございます

▲粗製品は晒しが悪くて水分の吸集力が足りないのみならず雲脂の良くない爲め傷を拭へば傷が痛む眼を拭へば刺激されて善い眼でも惡くなるといふ恐ろしいものです斯やうな譯ですから比較的安心の出來る日本藥局方精製綿と書いた綿を買ふのが得策です

▲脱脂綿の善惡を試驗するには少し千斷つて水に入れますスルト直に沈みて沈むのは脂肪が拔けて居る證據で善いのです沈まずに浮いて居るのは脂肪が拔けないからで無論惡い品です

▲次に水に浸して青色の試驗紙に漬けて見て試驗紙の色の赤くなるのはカルキが未だ洗ひ去られない爲で斯ういふのも惡い物少しの變化もないのは善い品です又ガーゼも同樣の注意が必要であります

○金化より　遜仙堂

春の宵ひろのまゝなる屏風
ついそこの學校林芽吹く哉

新刊紹介

▲海國少年（五月號）カイゼルの最後、十萬圓の罰金、氷に閉まれた探險隊、惡夢等痛快なるもの多く懸賞六大洲當て入選發表せり（十二錢東京芝區佐久間町一の一廿社）

▲少年（五月號）武勇物語、孤島探險談、深雪丸、大英雄、上海航海の怪船長等痛快なる話物多し（十六錢東京京橋南鍋町二時事新報社）

▲少女（五月號）七曲坂、水車小屋の娘、少女音樂劇等の少女小說及び訓話、對話、手藝、料理其他數十少女に適當なる讀物を載（十六錢東京々橋南鍋町二時事新報社）

▲少年倶樂部（五月號）大隈、晩村諸氏の痛快なる小說佐藤少將、大内博士等の美談の外百圓懸賞使途投票を發表せり（十六錢東京本郷駒込坂下町大日本雄辯會）

▲面白倶樂部（五月號）三五の春（大倉桃郎）如是樂（稲岡奴之助）人男（大河内翠山）褒美（渡邊霞亭）八百屋（娘）本田美禪）それからそれ（骨孔栖家五九郎）坂町二人殺し（就波四郎）等小說、落語、新講談、脚本及新聞の名聞、學校及學生、婦人、貴族、少年及少女の人物月旦、各評判記等數十篇（十錢東京市本郷駒込坂下町四八大日本雄辯會）

廣告

購買入札

一、ショベル外參點

右購買ス詳細ハ大正六年四月貳拾五日以降ノ朝鮮總督府官報ニアリ

大正六年四月貳拾四日　京畿道

最新刊

書名	著者	定價
宣行史傳大西郷全史	田中萬逸	二、〇〇
南洋遊記	鶴見祐輔	二、六〇
新刊年鑑（第一卷）	讀賣社編	八〇
最新研究株式投機	小林	二、五〇
パナマ運河と列國貿易競爭		一、五〇
文章の作り方	芳江秀雄	一、〇〇
書簡文大觀	内海月杖	九〇
紀行文旅の書簡	森田哲秀	六五
土木工學材料及施工	竹貫直次	一、〇〇
教案中心算術教授の實際案		一、〇〇
朝鮮之金鑛	町田長作	一、二〇
第一冊第一編工業青年成功譚		五五
和英對譯西諺小辭典	大澤貞吉	七〇
美學	阿部次郎	一、二〇
エムデン號秘史		八〇
草合	夏目漱石	一、三〇
文代	菊池幽芳	一、一〇
土岐哀果集	土岐哀果	六五
獨習自在生花秘傳	米澤造園	四五
基本練習用諸體かな帖	鳥村不老	四〇

運動具色々着荷致しました御用の節は早速御覧に入れます

大阪屋號書店　京城本町一丁目

軍隊拂下被服類

毛布官貸の御依頼に應ず

其他メリヤスシヤツ、サルマタ、ズボン下

右昨年殘品多數大見切にて販賣可仕候

京城北米倉町電話千百十二番　メリヤス雜貨卸商　村上商店

七日ツケタラ鏡をどらん色白くなるゲンソ液

小瓶二十錢　徳用四十錢

今東京で大評判の元素液色黒き顔赤き顔ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す　送料内地八錢朝鮮廿錢　發賣元　東京神田和泉橋際　松本藥包

子供のないのは女の病氣

早く召しませ

命の母を

五大博士證明　一等の婦人藥

一服、二服とキヽメが見へて

ヤガテ嬉しや……コンナ子寶

婦人病者心得

醫學博士、佐藤、北島四氏三醫學士共著

○東京京橋區新榮町笹岡藥研究所申込は無代進呈す

藥價　一試用拾錢　二日廿五錢　一週八十錢　二週一圓五十錢　五週間分金三圓

朝鮮人蔘　滋養　應用菓子　ホーカースヰート

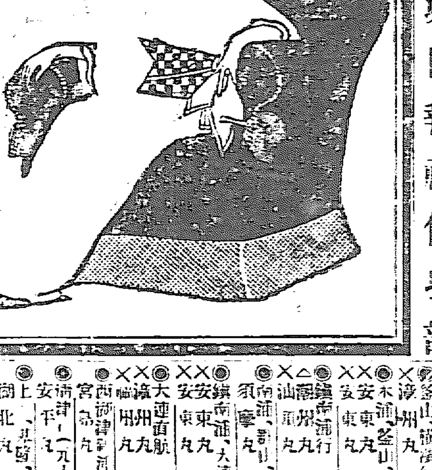
▼堀越商店の製菓試驗部にて滋養強壯劑眞正朝鮮人蔘其他數種を應用精製したる最新の滋養菓子ホーカースヰートを試みよ到る處に販賣す

東京日本橋　堀越嘉太郎商店（振替東京一五六）

瀟洒なるスタイルは

金鶴香水によつて

更に一段と……品格を高めます



磯部法學博士閲　一森辯護士　五年間大著

法理詳說　判例參照　實例引用

債權者の法律顧問

類書中の白眉！

著者多年の經驗と五年の歳月を費し金錢貸借抵當賣買讓渡其他一般の債權物權人權等の諸問題及實際上の難事件に際會せる場合の明快なる解決案、債權を法理を詳說し判例を參照し事實を證し一讀直に會得し應用し得る秘策と公開を座右せば妙案奇策湧くが如く活用し得

本書一冊あらば敏腕なる辯護士公證人代書人を屈ひ置くに勝る

約千頁七十餘萬字は一字一句皆生きて働らく實用本位の活文字なり

特價壹圓八拾錢　部限　壹千部

賣捌所　京城日報社代理部

京城太平通二丁目　振替京城一〇〇番

磯部僅少

直に申込まれよ約千頁の大冊僅に一圓八十錢

共同汽船仁川出帆

伏見丸　四月　日午後入港　四月　日正午出帆

同汽船株式會社　本町四丁目（電話一七三番）　野口商會

仁川代理店　田口商會

元山代理店　南大門通電話二六八〇一七　田口回漕店

京城取次店　河村運送店

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、門司、神戸、大阪行
須磨丸　四月廿八日　午後五時出帆
○門司、神戸、大阪行
汕頭丸　五月十三日　午後二時出帆
○釜山、鎮南浦行
淡州丸　五月　三　日　午後二時出帆
○木浦、釜山、嚴原、馬關、門司行
安東丸　五月二十一日　午後二時出帆
安東丸　五月二十一日　午後二時出帆
○鎮南浦行
鎮南浦丸　四月廿九日　午後二時出帆
○大連直航
淡州丸　四月廿九日　正午出帆
○西鮮沿岸津行
宮島丸　四月廿九日　午後十二時出帆
○上海行
安平丸　五月十一日　午後十二時出帆
○基隆行
北陸丸　五月三日　午前六時出帆

大阪商船會社仁川支店　電話二〇八番　内地通運會社京城支店　電話七五八番　切符發賣所

朝鮮郵船出帆

○江原丸　五月二日
○京畿丸　五月四日
○黄海丸　五月八日
○成鏡丸　四月廿九日　釜山發
[illegible]

本社　電話長一九五二番二三二番
京城南大門通　松原運送店

商況

▲（下）能く賣る

◎（日）能く買ふ

▲月末戰如何

▲現物

二十五日の六月限